

日本育種学会 第117回講演会プログラム

2010年春季 京都大学

大会本部 (TEL: 090-5501-3681 期間中のみ)

3月25日(木)	午後	幹事会 15:00-18:00 (農学部総合館:大会議室)
----------	----	-------------------------------

3月26日(金)	午前	ポスター奇数番号 10:00-11:00 (百周年時計台記念館:国際交流ホール)
		ポスター偶数番号 11:00-12:00 (百周年時計台記念館:国際交流ホール)
	午後	総会・学会賞授賞式 13:30-14:15 (百周年時計台記念館:百周年記念ホール)
		<p>学会賞受賞講演 14:30-17:20 (百周年時計台記念館:百周年記念ホール)</p> <p>学会賞</p> <p>14:30 ☆コムギの核および細胞質ゲノムにおける機能ゲノム科学の展開 荻原保成(横浜市立大学木原生物学研究所)</p> <p>☆植物ホルモンの分子生物学的作用機構解明と分子育種による作物の改良 松岡 信(名古屋大学生物機能開発利用研究センター)</p> <p>☆新潟県における「コシヒカリ新潟BLシリーズ」の開発と普及 「コシヒカリ新潟BLシリーズ」開発グループ(代表者:石崎和彦)</p> <p>16:00</p> <p>奨励賞</p> <p>16:20 ☆イネにおける品質・食味関連形質の遺伝解析とその育種的利用 竹内善信(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所)</p> <p>☆イネのシュート構築機構の解明 佐藤 豊(名古屋大学大学院生命農学研究科)</p> <p>☆SSRマーカーを利用したネギの育種における応用研究 塚崎 光(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所)</p> <p>17:20</p>
懇親会 19:00-21:00 (グランドプリンスホテル京都)		

		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	
		農学部総合館 W-100	農学部総合館 W-214	農学部総合館 W-314	農学部総合館 W-322	農学部総合館 W-422	理学部6号館 301号室	理学部6号館 401号室	
3月27日(土)	午前	ゲノム解析・DNAマーカー 101-112 9:00-12:00	ゲノム解析・DNAマーカー 201-210 9:00-11:30	変異創成 301-312 9:00-12:00	遺伝資源 401-412 9:00-12:00	発生 501-512 9:00-12:00	品種育成・育種法 601-612 9:00-12:00	抵抗性・耐性 701-712 9:00-12:00	
			育種情報・データベース 211-212 11:30-12:00						
	午後	日本育種学会男女共同参画推進委員会主催 ランチョンセミナー 12:10-13:00 (第1会場:農学部総合館W-100)							
		ゲノム解析・DNAマーカー 113-124 13:15-16:15	品質成分 213-226 13:15-16:45	変異創成 313-320 13:15-15:15	遺伝資源 413-415 13:15-14:00	発生 513-520 13:15-15:15	品種育成・育種法 613-626 13:15-16:45	抵抗性・耐性 713-721 13:15-15:30	遺伝資源 722-724 15:30-16:15
		収量性・バイオマス 227-228 16:45-17:15	ゲノム解析 321-324 15:15-16:15	増殖・生殖 416-428 14:00-17:15	収量性・バイオマス 521-525 15:15-16:30				
		グループ研究集会 17:30-19:30 (農学部総合館:W-214、他)							

講演会場へのアクセス



主要鉄道駅	利用交通機関等	乗車バス停	市バス系統	市バス経路	本学までの所要時間	下車バス停
JR京都駅から	市バス	京都駅前	206系統	「東山通 北大路バスターミナル」行	約35分	百万遍①
			17系統	「河原町通 錦林車庫」行	約35分	京大農学部前
阪急河原町駅から	市バス	四条河原町	201系統	「祇園 百万遍」行	約25分	百万遍②
			31系統	「東山通 高野・岩倉」行	約25分	百万遍①
			17系統	「河原町通 錦林車庫」行	約25分	百万遍②
			3系統	「百万遍 北白川仕伏町」行	約25分	百万遍②
地下鉄烏丸線烏丸今出川駅から	市バス	烏丸今出川	203系統	「銀閣寺道・錦林車庫」行	約15分	京大農学部前
			201系統	「祇園 百万遍」行	約15分	百万遍①
地下鉄東西線東山駅から	市バス	東山三条	206系統	「高野 千本北大路」行	約20分	百万遍①
			201系統	「百万遍 千本今出川」行	約20分	百万遍②
			31系統	「修学院・岩倉」行	約20分	百万遍①
京阪出町柳駅から	徒歩	(東へ)	—	—	約20分	
	市バス	出町柳駅前	17系統	「錦林車庫」行	約8分	京大農学部前

市バス「百万遍」バス停は、利用する系統によって停車位置が異なりますので、ご注意ください。

講演会場案内図（京都大学吉田キャンパス）

北部構内

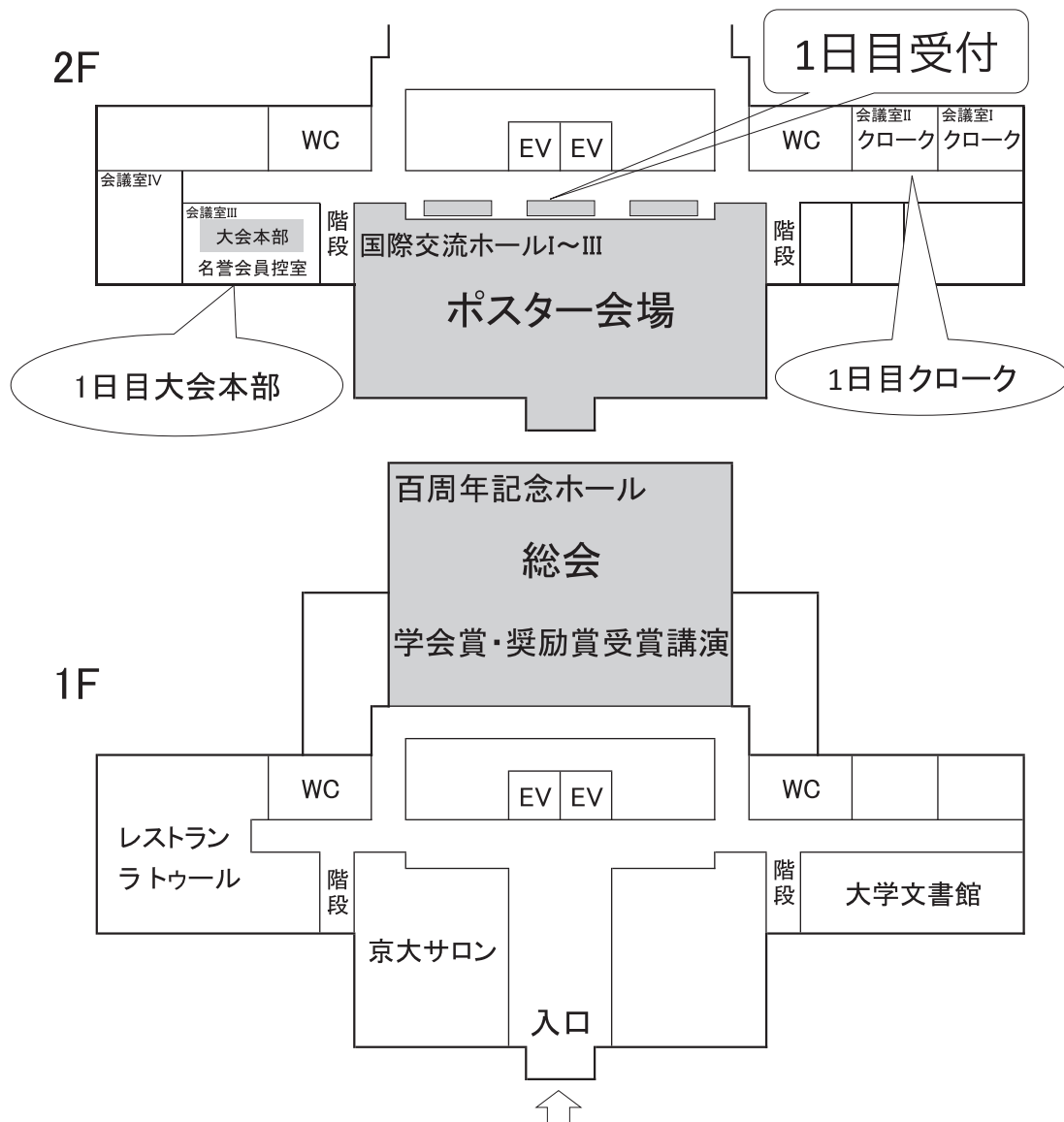


本部構内

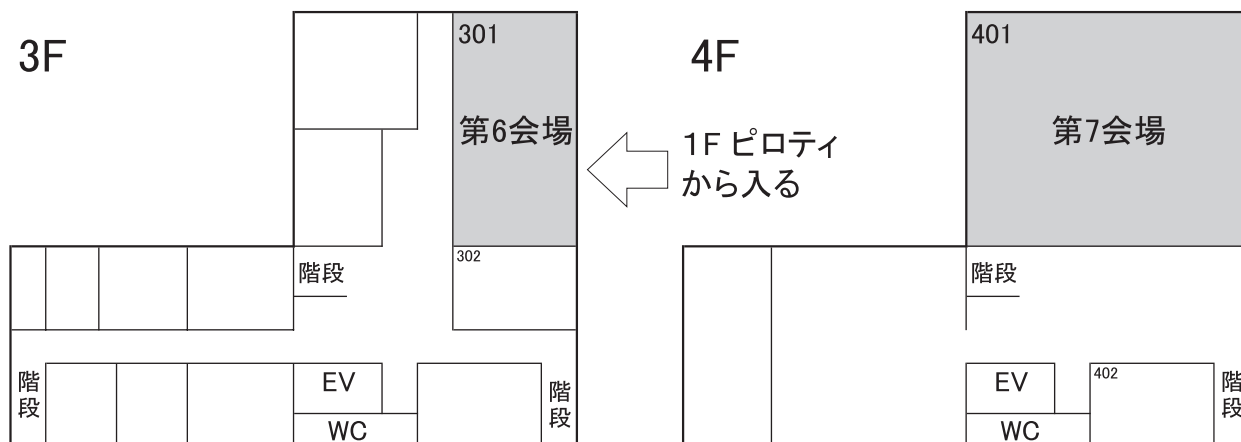


受付が26日と27日で異なりますのでご注意ください。

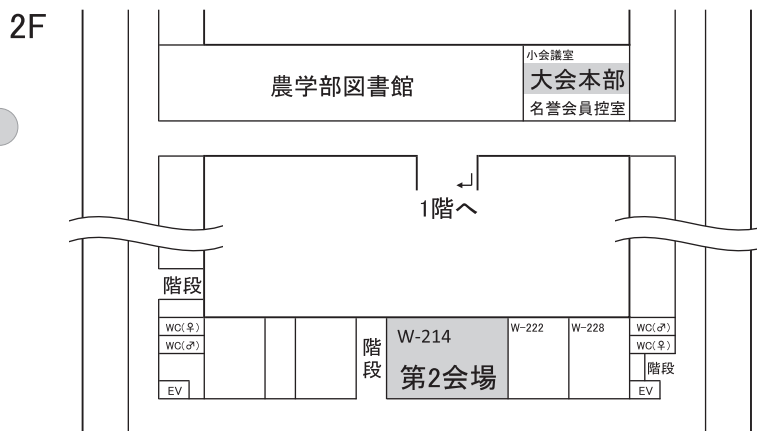
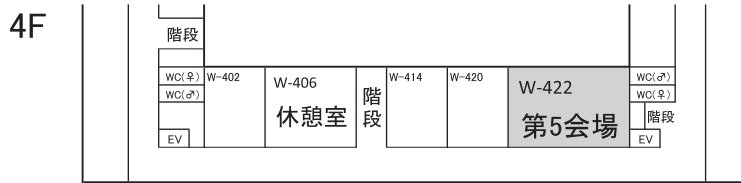
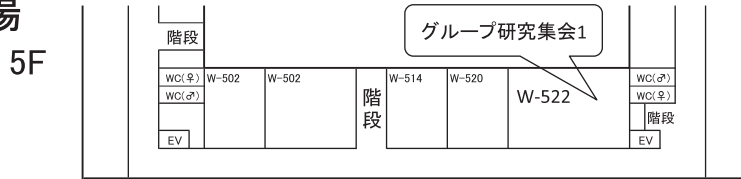
1日目(3月26日)会場 百周年時計台記念館



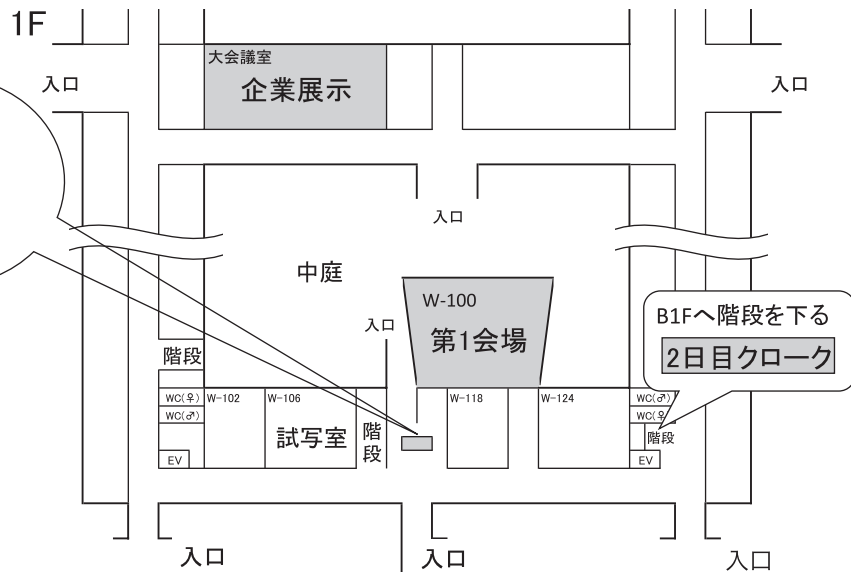
2日目(3月27日)会場 理学部6号館



2日目(3月27日)会場 農学部総合館



1日目と2日目で会場が異なりますのでご注意ください



ポスター発表プログラム (3月26日)

奇数番号 10:00-11:00 偶数番号 11:00-12:00 (百周年時計台記念館:国際交流ホール)

1. 品種育成・育種法

P001	新規需要米には水稲用除草剤ベンゾピシクロン感受性品種・系統が存在する 関野景介・〇山崎明彦・山田祐司・小柳弘(株式会社エス・ディー・エスバイオテック)
P002	胚乳が黄色い水稲新系統「むさしの20号」の育成 〇大岡直人・荒川誠一・矢ヶ崎健治・箕田豊尚・野田聡・新井守3(1. 埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所. 埼玉県農林総合研究センター3. 埼玉県農林総合研究センター茶業特産研究所)
P003	B-グルカンを欠失したビールオオムギの開発 〇五月女敏範1,3・大関美香1・春山直人1・長嶺敬2・石川直幸2・高山敏之1・渡邊浩久1・沖山毅1(1. 栃木農試栃木分場2. 近中四農研3. 東京農工大)
P004	オオムギリボキシゲナーゼ(LOX)-2の簡易選抜法の開発 〇大関美香1・五月女敏範1・春山直人1・長嶺敬1,2(1. 栃木農試栃木分場2. 農研機構・近中四農研)
P005	難裂莢性を戻し交雑により主要大豆品種に導入した難裂莢性系統群の開発 〇山田哲也1・羽鹿牧太1・船附秀行2・山田直弘1・高橋浩司3・大木信彦4(1. 作物研2. 北海道農業研3. 長野県野菜花き試4. 九州沖縄農研)
P006	中国由来Fujian5114を用いた高度赤かび病抵抗性春まき小麦系統の育成 〇川西由紀・筒井一・太田宇香・小笠原美奈子・林将也・西井絵里子(ホクレン農業総合研究所)
P007	ソバ難脱粒系統の脱粒程度 〇鈴木達郎・六笠裕治・森下敏和・野田高弘・瀧川重信・橋本直人・遠藤千絵・山内宏昭(北海道農業研究センター)
P008	高品質蒸切干用サツマイモ新品種「ほしキラリ」の育成 〇蔵之内利和・中村善行・高田明子・田宮誠司・中谷誠・熊谷亨(農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所)
P009	チャにおける炭疽病および輪斑病抵抗性系統「枕崎30号」の育成 吉田克志・〇根角厚司・田中淳一・谷口都也・荻野暁子・佐波哲次・松永明子(農研機構野菜茶業研究所)
P010	宮崎県在来野菜「佐土原」をモデルにした食味評価基準の数値化への試み 1. 成分分析と官能検定との整合性に基づく品種間差異 〇石井修平1・富永寛3・陳蘭荘1,2(1. 南九州大学大学院園芸学・食品科学2. 南九州大学園芸3. (元)宮崎県農試)
P011	宮崎県在来野菜の振興を目的とした「糸巻き大根」の系統選抜による品種の育成。I.形態学的手法とRAPD-PCR法を用いた選抜効果の検証 〇田中佑樹1・熊本耕平2・富永寛3・陳蘭荘1,2(1. 南九州大学大学院園芸学・食品科学2. 南九州大学園芸3. (元)宮崎県農試)
P012	Dot-blot-SNP法によるダイコンの品種判別 〇岡本俊介1・坂本浩司1・斎藤敦夫1・北柴大泰2・西尾剛2(1. タキイ種苗株式会社 研究農場2. 東北大学大学院農学研究所)
P013	コンニャクにおける複数ウイルス耐病性系統の選抜 〇飯塚弘明1・下山淳1・花田薫2(1. 群馬県農業技術センター こんにゃく特産研究センター2. 中央農業総合研究センター)
P014	アグロバクテリウム法によるフリージアの形質転換体の作出 浜絵里子1,2・〇吉秋斎1・有手友嗣1,3・村濱稔1・小牧正子1(1. 石川県農業総合研究センター2. 石川県庁3. 石川県工業試験場)
P015	β -amyloid peptide を種子胚乳中に蓄積させた際に生じるERストレスの解析 〇大野陽子・若佐雄也・廣瀬咲子・楊麗軍・作田千代子・高岩文雄(農業生物資源研究所)

2. 育種情報・データベース

P016	次世代高速シーケンサー自動解析パイプラインによるイネ近縁種ゲノム解析 〇永田俊文1・神沼英里2・大柳一3・望月孝子1,2・中村保一2・会津智幸4・藤山秋佐夫4・豊田敦4・倉田のり1(1. 遺伝研・系統生物・植物遺伝2. 遺伝研・生命情報・DDBJ研究センター・大量遺伝情報3. 三菱スペース・ソフトウェア4. 遺伝研・生物遺伝資源情報総合センター・比較ゲノム解析)
P017	2次元電気泳動の画像解析用開発したソフトウェアを用いたイネ種子タンパク質の研究 〇橋本早記1・セガ高也2・濱田晃次1・山田哲也1・金勝一樹1(1. 農大院農2. 生物研)
P018	イネの遺伝子発現ネットワーク構築 〇濱田和輝1・山本直樹1・望月孝子2・諏訪部圭太3・倉田のり2・矢野健太郎1(1. 明治大農・バイオインフォ2. 遺伝研植物遺伝3. 三重大生物資源)
P019	品種育成系譜図作成ソフトウェア:EvoTreeの機能強化とその活用 〇竹崎あかね1・坂智広2・勝田真澄3・奥泉久人4・羽鹿牧太5(1. 中央農研2. 横浜市大木原生研3. 農水技会筑波事務所4. 生物研5. 作物研究所)

3. 遺伝資源・系統分化

P020	ダイズサボニンのC-22位の糖鎖構造を制御する遺伝子の変異解析 〇笹間博子1・佐山貴司1・諏訪間崇治1・小松邦彦1・塚本知玄2・石本政男1(1. 北農研2. 岩手大院農)
P021	丹波地方とその周辺地域に由来する黒ダイズ在来系統の遺伝的分類 〇吉田晋弥1・廣田智子1・佐山貴司2・笹間博子2・石本政男2(1. 兵庫県立農林水産技術総合センター2. 北海道農研センター)
P022	ダイズ在来系統ダダチャマメの系統分化 〇小西省吾・笹沼恒男・阿部利徳(山形大学農学部)
P023	一粒系コムギの現代化に関する研究 〇渡部信義・アノワルハック・喜多いずみ・小菅一真・久保山勉(茨城大農)
P024	Proteome Variation in Wild Relatives of Wheat: Functional Analysis of Grain using LCQ Mass Spectrometry 〇金基現1・Kamal1・Shin1・Oh1・辻本壽2・C. Park3・Heo4・禹仙熙1(1. Dept. of Crop Science, Chungbuk National Univ., Korea2. Tottori Univ.3. Honam Agri. Research Inst., National Inst. of Crop Science, Korea4. Breeding Resource Development, National Inst. of Crop Science, Korea)
P025	Influences of Allelic Variations in Glutenin on Quality of Pan Bread and White Salted Noodles from Korean Wheats 〇朴鐵修1・C. Kang1・Cho S.W1・J. Jeung2・Cheong Y. K.1・Woo3(1. Development of Rice and Winter Cereal Crop, National Institute of Crop Science, Korea2. Rice Research Division, National Institute of Crop Science, Korea3. Dept. of Crop Science, Chungbuk National Univ., Korea)
P026	Proteomics of the Chloroplast: Systematic Investigation and Analysis of Sub-compartment in Wheat 〇a. kamal1・Kim D. E1・魚住信之2・J. Choi3・Cho Kun4・禹仙熙1(1. Dept. of Crop Science, Chungbuk National Univ., Korea2. Grad. Sch. of Engineering, Tohoku Univ.3. Proteome Research Team, Korea Basic Science Inst., Korea4. Mass Spectrometry Research Center, Korea Basic Science Inst., Korea)

P027	Association of Puroindoline Genotypes and Grain Properties, Milling Performances and Physical Properties of Flour in Korean Wheats O.C. Park1・C. Kang1・Jeung J. U2・Cheong Y. K1・禹仙熙3(1. Development of Rice and Winter Cereal Crop, National Institute of Crop Science, Korea2. Rice Research Division, National Institute of Crop Science, Korea3. Dept. of Crop Science, Chungbuk National Univ., Korea)
P028	アビシニア高地を中心とした4倍性コムギ(<i>Triticum turgidum</i> L.)の遺伝的変異と地域分布 O竹中祥太郎1・森直樹2・河原太八1(1. 京大院農学2. 神戸大院農学)
P029	オオムギコアコレクション南・東アジアサブセットにおける播性の多様性 O石井誠・佐藤和広(岡大資生研)
P030	遺伝子多様性に基づくコアコレクション選定の新しい試み—アワへの応用およびその形態形質の多様性との対比 O平野僚子1・岩田洋佳2・福永健二3・渡邊和男1・河瀬眞琴4(1. 筑波大院生命環境2. 中央農研3. 県立広島大生命環境4. 生物研)
P031	ゲノムシーケンスを用いたアワ遺伝子の分子進化— <i>PPC</i> 遺伝子と <i>HD1</i> 遺伝子のホモログ O福永健二1・井上賢彦1・八軒雄大1・伊藤継生1・長谷川貴大1・一谷勝之2・河瀬眞琴3(1. 県立広島大生命環境2. 鹿大農3. 生物研)
P032	<i>Waxy</i> 遺伝子の塩基配列多型からみたアワの系統分化 O八軒雄大1・長谷川貴大1・一谷勝之2・河瀬眞琴3・福永健二1(1. 県立広島大生命環境2. 鹿大農3. 生物研)
P033	長野県在来カブ・ツツネナ品種におけるSハプロタイプの多様性 O小澤俊輔1・根本和洋1・南峰夫1・松島憲一1・朴永俊2・西川智太郎3・西川芳昭4(1. 信州大院農2. 信州大院総合工学系3. 農業生物資源研究所4. 名大院国再開発)
P034	フダンソウにおけるミトコンドリアミナサテライトの多型 程大友1・吉田有宇1・北崎一義1・根来慎也1・高橋宙之2・O久保友彦1・三上哲夫1(1. 北大農学研究院2. 北農研)
P035	イネのindica-japonicaにおけるjuvenile-adult相転換時期の分化 O荒川恵理・吉川尊徳・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)
P036	組換えサツマイモの生物多様性影響評価手法の開発 II. サツマイモと日本に自生・帰化する <i>Ipomoea</i> 属植物との雑種性評価のためのDNAマーカー O岡田吉弘・高畑康浩・田中勝・吉永優(九州沖縄農研)
P037	SSRマーカーによるクリ堅果のDNA品種同定 O山本俊哉・寺上伸吾・保坂ふみ子・西尾聡悟・山下浩之・高田教臣・澤村豊・齋藤寿広・西谷千佳子・今井剛・藤井浩(農研機構果樹研)

4. 変異創成

P038	シロイヌナズナを用いたDNA突然変異へのLET効果の解析(1) O風間裕介1・平野智也1・西原潔1・Y. Liu1,2・大部澄江1・林祐子1・林依子1・松山知樹3・阿部知子1(1. 理研・仁科センター2. Inst. Modern Phys., Chin. Acad. Sci3. 理研・基幹研)
P039	イネの突然変異誘発に対する重イオンビームのLET効果 O林依子1・渋川登美子1・風間裕介1・平野智也1・大部澄江1・東海林英夫1・佐藤雅志2・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 東北大院生命科学)
P040	重イオンビーム照射により得られた耐塩性イネ突然変異系統の全ゲノム解析 O平野智也1・渋川登美子1・E. Arner2・市田裕之1,3・竹久妃奈子1,4・林依子1・真鍋理一郎2・河合純2・佐藤雅志5・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 理研LSAシステム構築グループ3. 明治大農学4. 農業生物資源研究所ゲノムリソースセンター5. 東北大院生命科学)
P041	アミロライスの開発とその特性の研究(2) O阿部克1・関川晶子1・伊地知和久2・花城勲3・峰村貴史4・佐藤お礼4・阿久澤さゆり4・藤田直子5・三ツ井敏明6・伊藤紀美子1(1. 新潟大院自然研2. 鹿児島大院農学研3. 鹿児島大農4. 東京農大応用生物栄養5. 秋田県大生物資源6. 新潟大農)
P042	環境ストレス応答性RSOsPR10を過剰発現する形質転換イネの特性 O大田幸士1・長谷川久和1・小松節子2・小柴共一3・寺川輝彦1(1. 北興化学開発研2. 作物研3. 首都大生命科学)
P043	cDNA過剰発現イネの表現型に基づくイネ転写因子の網羅的機能解析 O堀川明彦1・飯田(岡田)恵子1・榎田(間山)智子1・宮尾安藝雄1・永田俊文1・保坂アエニ1・菊池尚志1・光田展隆2・瀧口裕子2・松井恭子2,3・高木優2・長村吉晃1・市川裕章1(1. 生物研2. 産総研3. グリーンソニア)
P044	<i>Cucumis</i> 属野生種とメロン(<i>C. melo</i>)の種間交雑における花粉管伸長に対する温度の効果 O松本雄一1,2・宮城慎1・渡部信義2,3・久保山勉2,3(1. 茨城農総生工研2. 農工大院連農3. 茨城大農)
P045	<i>Brassica</i> 近縁野生種5種と <i>B. oleracea</i> との雑種F1植物及び後代植物の育成 O沈受玄・山田歩・房相佑・金子幸雄(宇都宮大学農学部)
P046	ダツタンソバと普通ソバの種間雑種における脱粒性の発現 O南峰夫1・S. Orapin1・山元久明2・河村篤紀1・林憲弘2・松島憲一1・根本和洋1(1. 信大院農学研究所2. 信大農学部)
P047	ガンマ線およびイオンビーム照射によって得られたダツタンソバ半矮性系統の遺伝および農業特性 O森下敏和1・六笠裕治1・鈴木達郎1・清水明美2・山口博康3・出花幸之介4・相井城太郎5・長谷純宏6・鹿園直哉6・田中淳6・宮沢豊7・林依子8・阿部知子8(1. 北農研2. 農業生物資源研究所3. 花き研究所4. 沖縄県農業研究センター5. 新潟薬科大学6. 原研機構7. 東北大学8. 理研)
P048	<i>Cymbidium</i> 属と <i>Lycaste</i> 属の属間交配により作出された種子の雑種性 O塩田浩喜1・林亜沙香1・安保幹太2・加藤淳太郎1・市橋正一1(1. 愛知教育大生物2. アボウオーキッド)
P049	花茎採取用ニラ品種を用いた種間交雑による四季咲き性観賞用 <i>Allium</i> 属種作出 O松田靖・乙丸康宏・村田達郎(東海大学農学部応用植物科学科)
P050	<i>Nicotiana tabacum</i> と <i>Suaveolentes</i> 節に属する21種50系統の野生種との交雑における雑種致死の発現 O飯塚貴大1・小田雅行2・手塚孝弘2(1. 大阪府大生命環境2. 大阪府大院生命環境)
P051	<i>Nicotiana tabacum</i> および <i>N. suaveolens</i> の雑種致死関連遺伝子HLR104 のクローニングと発現解析 O野村茂樹1・山田哲也2・金勝一樹2・丸橋亘1(1. 明治大農2. 農工大院農)
P052	形質転換ネットワーク(TRANSNET)によるダイズ組換え体の作出支援 O大橋美帆子1・廣瀬重矢1・高木恭子1・松井南2・石本政男1(1. 北農研2. 理研PSC)
P053	ダイズの体細胞胚誘導能を制御する遺伝要因の探索 O廣瀬重矢1・佐山貴司1・小松邦彦1・高橋将一2・石本政男1(1. 北農研2. 九農研)
P054	篩管長距離輸送siRNAシグナルによる遺伝子サイレンシング発動様式 O兼平杏美・山田かおり・葛西厚史・原田竹雄(弘前大学院農学生命科学研究科)
P055	35Sプロモーターのエンハンサー領域に結合するリンドウ核因子と <i>de novo</i> メチル化の関係 O山崎謙知1・小田雅行1・小泉望1・中塚貴司2・西原昌宏2(1. 大阪府大院生命環境2. (財)岩手生工研セ)

P056	<p>チャ(<i>Camellia sinensis</i>)の形質転換における選抜方法の検討 ○古川一実1・蔭山夏美1・大野光1・白鳥水貴1・加藤美知代1・山田亜美2・柳田章2・常吉俊宏3(1. 沼津工業高等専門学校2. スズキ株式会社3. 静岡理科大学)</p>
P057	<p>ソルガムコアコレクションにおけるカルス形成能およびアグロバクテリウム感染性の品種間差異 ○宮原研三(農業生物資源研究所)</p>

5. 抵抗性・耐性

P058	<p>判別品種としてのUS-2準同質遺伝子系統群のいもち病抵抗性評価 ○川崎顕子1,2・Telebanko-YanoriaMary Jeanie3・小出陽平3・小林伸哉1,3・林長生4・S. Santoso5・X. Phetmanyseng6・T. Jennifer7・T. Ha8・福田善通1(1. 国際農研2. 鳥取大連合農3. 国際稲研究所4. 生物研5. インドネシア稲研究センター6. 稲および商業作物研究センター7. フィリピン稲研究所8. クーロンデルタ稲研究所)</p>
P059	<p>イネのツマグロココバイ抵抗性遺伝子に関する集積系統の作出と評価 ○藤田大輔1,2・吉村淳1・安井秀1(1. 九大院農2. 国際稲研究所)</p>
P060	<p>水稲穂ばらみ期耐冷性遺伝子集積系統の人工気象室における耐冷性評価 ○斎藤浩二・松葉修一・黒木慎・佐藤裕(農研機構・北海道農研)</p>
P061	<p>熱ショックタンパク質遺伝子<i>sHSP17.7</i>を過剰発現するイネの穂ばらみ期耐冷性及び生育・形態の特性 ○佐藤裕1・増田ゆかり1・村山誠治1・小沢憲二郎2(1. 農研機構北海道農研センター2. 農業生物資源研究所)</p>
P062	<p>稈長及び出穂性イネ準同質遺伝子系統の穂ばらみ期耐冷性 ○永野邦明1・我妻謙介1・村井正之2(1. 宮城古川農試2. 高知大農)</p>
P063	<p>水稲穂ばらみ期耐冷性遺伝子集積分離集団の冷水掛け流し検定圃場における耐冷性評価 ○松葉修一・黒木慎・斎藤浩二・横上晴郁・佐藤裕・清水博之(農研機構・北海道農研)</p>
P064	<p>イネABCトランスポーターRCN1による過湿土壤中での根酸化への寄与 ○松尾優一1・中村元昭1・塩野克宏1・安藤美保1・K. Ranathunge2・土反伸和3・藤本優4・高橋宏和1・高牟礼逸朗5・矢崎一史3・L. Schreiber2・堤伸浩1・中国幹生1・加藤清明6(1. 東大農学生命科学2. U. Bonn, Dept. Ecophysiol., Inst. Cellular & Mol. Bot.3. 京大生存圏研究所4. 東大理学5. 北大農院6. 帯広畜産大)</p>
P065	<p>イネの根における誘導的通气組織形成に関与する遺伝子の網羅的発現解析 ○山内卓樹1・塩野克宏1,2・安彦友美1・I. Rajhi1・高牟礼逸朗3・長村吉晃4・堤伸浩1・中国幹生1・加藤清明5(1. 東大農学生命科学2. 日本学術振興会特別研究員PD3. 北大農院4. 農業生物資源研究所ゲノムリソースセンター5. 帯広畜産大)</p>
P066	<p>ガドミウムの吸収を増加させる遺伝子を過剰発現させたイネのアレイ解析 ○雲岡秀樹1,2・橋田慎之介2・庄子和博2・後藤文之2・島田浩章1・吉原利一2(1. 東理大生物工学科2. 電中研環境科学)</p>
P067	<p>イネ科暖地型牧草<i>Chloris gayana</i>と近縁種<i>Chloris virgata</i>、及びイネのアルカリ塩類耐性の比較 ○藤原一優1・西内俊策1・柳 参奎2・高野哲夫1(1. 東大アジアセンター2. 中国東北林業大学)</p>
P068	<p>水稲玄米の粒形と背白米発生率との関係 ○富田柱・小林麻子(福井農試)</p>
P069	<p>イネ塩素イオンチャネル<i>OsCLC</i>の細胞内局在と機能の解析 ○李学佳1・津釜大侑1・西内俊策1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東大アジアセンター2. 東北林業大学)</p>
P070	<p>高温ストレスに対するイネ代謝物質の変動および品種間差異 ○佐野智義1・後藤元2・及川彰3・早坂剛1・藤井弘志4(1. 山形県農総研水田農試2. 慶應大先端研3. 理研植物科学研究センター4. 山形大農)</p>
P071	<p>イネの子葉鞘における硝酸吸収関連遺伝子の発現 ○高柳周1・白岩立彦2・清水顕史3・長谷川博3(1. 滋賀県立大院環境科学2. 京大院農3. 滋賀県立大環境科学)</p>
P072	<p>多収水稲品種における4-HPPD阻害型除草剤ベンゾピシクロン感受性の遺伝様式 ○赤坂舞子・渡邊寛明(中央農研)</p>
P073	<p>圃場検定によるダイズ茎疫病菌圃場抵抗性評価 ○山下陽子1・田澤暁子2・南忠1(1. 北海道立中央農試2. 北海道立十勝農試)</p>
P074	<p>ダイズの毛茸密度がハスモンコトウ非選好性に及ぼす効果 ○大木信彦1・小松邦彦2・高橋将一1・高橋幹1・羽鹿牧太3・石本政男2(1. 九州沖縄農研2. 北海道農研3. 作物研)</p>
P075	<p>秋まきコムギ品種「ゆめちから」および「きたほなみ」における赤かび病抵抗性QTLのマッピング ○西尾善太1・尾上ちひろ1,2・早田暁世1・伊藤美環子1・田引正1・長澤幸一1・山内宏昭1・三浦秀穂2(1. 北海道農研2. 帯広畜産大学)</p>
P076	<p>Thatcher赤さび病準同質遺伝子系統の圃場における抵抗性評価 ○伊藤裕之・中村和弘・平将人・谷口義則(農研機構東北農研)</p>
P077	<p>Cloning and expression analysis of <i>WRKY45</i> gene in wheat. ○I. Bahrini1,2・菊地理絵2・小川泰一2・川東広幸2・半田裕一1,2(1. 筑波大院生命環境2. 生物研)</p>
P078	<p>コムギのマイコキシン低蓄積性に関わるQTLと<i>MRP</i>遺伝子の関係 ○菊地理絵・半田裕一(生物研)</p>
P079	<p>コムギにおけるラフィノース蓄積のストレス応答性 ○下坂悦生・村山誠治(農研機構北海道農研)</p>
P080	<p>トマト黄化葉巻病抵抗性遺伝子のホモ化による抵抗性の向上 ○斎藤新・齋藤猛雄・松永啓(農研機構野菜茶研)</p>
P081	<p>国内圃場におけるチョウ目害虫抵抗性遺伝子組換えトウモロコシ(Bt11スイート種)のアワノメイガに対する防除効果(2) ○宇賀神勉1・笹川由紀2・土門英司2・石川達夫2・内田健2・森本輝一1・眞鍋忠久3・田部井豊2(1. シンジェンタ ジャパン(株)2. (独)農業生物資源研究所3. シンジェンタ シード(株))</p>
P082	<p>オヒルギ遺伝子を導入したシロイヌナズナの耐塩性と耐重金属耐性 ○多田雄一(東京工科大学 応用生物学部)</p>
P083	<p>アグロバクテリウムを宿主とした耐塩性スクリーニングで選抜したオヒルギ遺伝子を導入したシロイヌナズナの解析 ○澤井五月・多田雄一(東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科)</p>

6. 品質成分

P084	低タンパク化による水稲早生系統の食味改良の試み ○小林麻子・富田桂・田野井真・林猛(福井農試)
P085	水稲品種「IR36」及び「金南風」のモチ突然変異胚乳澱粉の尿素糊化特性 ○V. Hoang ¹ ・T. Tran ¹ ・西愛子 ¹ ・大坪研一 ² ・竹本陽子 ³ ・佐藤光 ¹ (1. 九大院農2. 新潟大3. 作物研)
P086	新潟県における近年のイネ品種の玄米品質に関する安定性評価 神戸崇・松井崇晃・名畑越夫・奈良悦子・石崎和彦(新潟農総研・作物研)
P087	胴割れ粒発生品種間差について ○林猛(福井県農業試験場)
P088	北海道産硬質小麦品種の生パスタ加工適性の評価 ○伊藤美環子・西尾善太・長澤幸一・船附稚子・田引正・山内宏昭(北海道農研)
P089	北海道小麦品種「きたほなみ」を遺伝資源とした暖地小麦への高製粉性の導入 ○藤田雅也 ¹ ・八田浩一 ¹ ・ノノ瀬靖則 ² ・小田俊介 ² ・久保堅司 ^{1,2} ・松中仁 ¹ (1. 農研機構九州沖縄農研2. 農研機構作物研)
P090	コムギの変異型Wxタンパク質がアミロースに与える影響 ○山守誠(作物研究所)
P091	A New High Yielding Pigmented Waxy Rice Cultivar“Cheongpungheuk-chal” ○S. Lee ¹ ・LeeYun-Sang ¹ ・J. Lee ¹ ・HanDong-Ho ¹ ・AhnJeong-Koo ² ・RhoChang-Woo ¹ ・ParkJae-Seong ¹ ・HongSeong-Taek ¹ ・J. Ji ¹ ・KimYoung-Sang ¹ ・YunTae ¹ ・MinKyeong-Beom ¹ ・WooSun-Hee ² (1. Chungbuk Agricultural Research and Extension Service, Korea 2. College of Agriculture Life and Environment Sciences, Chungbuk National Univ., Korea)
P092	A New Aromatic Pigmented Waxy Rice Cultivar“Cheongpungheukhyang-chal” ○LeeYun-Sang ¹ ・LeeSang-yeong ¹ ・LeeJoung-Kwan ¹ ・HanDong-Ho ¹ ・JooSeon-Jong ¹ ・SongIn-Gyu ¹ ・T. Yun ¹ ・MinKyeong-Beom ¹ ・WooSun-Hee ² (1. Chungbuk Agricultural Research and Extension Service, Korea 2. Col. of Agr. Life and Envi. Sci., Chungbuk National Univ., Korea)
P093	ダイズ種子サポニンのC-3位結合糖鎖組成に関する遺伝的変異の解析 ○高田吉丈 ¹ ・田山一平 ² ・佐山貴司 ³ ・笹間博子 ³ ・猿田正恭 ¹ ・岡部昭典 ¹ ・菊池彰夫 ⁴ ・塚本知玄 ² ・石本政男 ³ (1. 近中四農研2. 岩手大院農3. 北農研4. 東北農研)
P094	オオムギにおけるデンブ変異遺伝子の集積による機能性多糖の高含量化 ○塔野岡卓司 ^{1,2} ・青木恵美子 ¹ ・吉岡藤治 ¹ ・乙部千雅子 ^{1,2} (1. 農研機構作物研2. 筑波大生命環境科学)
P095	<i>Camellia taliensis</i> に由来するチャのカフェインレス形質とカフェイン合成酵素遺伝子 <i>TCS1</i> との関係 ○荻野暁子 ¹ ・谷口郁也 ¹ ・田中淳一 ¹ ・山本将之 ² ・山田恭司 ² (1. 農研機構 野菜茶業研究所2. 富山大学大学院理工学教育部)
P096	エダマメの種子形質と成分に関する研究 ○小田信博・本間彩夏・笹沼恒男・阿部利徳(山形大農)

7. 収量・バイオマス

P097	短稈コシヒカリ型水稲品種『ヒカリ新世紀』が持つ <i>sd1</i> の発現解析 ○松本翔太・富田因則(鳥取大農分子遺伝)
P098	複数のマッピング集団を用いた、水耕法で栽培された根の長さに関するQTLのマッピング ○小原実広 ¹ ・阿部陽 ² ・寺内良平 ¹ ・竹田匠 ¹ (1. 財団法人岩手生物工学研究センター2. 岩手県農業研究センター)
P099	パンコムギと祖先野生種からのALAD1 cDNAの単離とALAD1タンパク質の葉緑体移行 ○竹ノ内悠・金丸研吾・宅見薫雄(神戸大農学)

8. 発生

P100	ストリグラクトンは暗所での発芽時のメソチル伸長を主に制御する ○胡仲遠 ¹ ・閻海芳 ^{1,2} ・楊景華 ^{1,3} ・山口信次郎 ⁴ ・前川雅彦 ⁵ ・高牟礼逸朗 ⁶ ・堤伸浩 ¹ ・経塚淳子 ¹ ・中國幹生 ¹ (1. 東大農学生命科学2. 中国東北林業大生命科学3. 中国浙大園芸4. 理研 植物科学研究センター5. 岡大資生研6. 北大農院)
P101	栄養成長初期に主稈が枯死するイネの <i>main culm lethal</i> 変異体の解析 ○藤井宏樹・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)
P102	常緑性ツツジの花器変異に関連するMADS-box遺伝子の発現解析 ○中務 明 ¹ ・古賀美紗都 ¹ ・大谷雅宜 ¹ ・千 慶晟 ² ・小林伸雄 ¹ (1. 島根大生物資源科学部2. 鳥取大連合農学研究所)
P103	極晩抽性素材つな中間母本農2号 (<i>Brassica rapa</i>) における開花関連遺伝子の発現解析 ○北本尚子 ¹ ・由比進 ² ・高畑義人 ¹ ・横井修司 ¹ (1. 岩手大学 農学部2. 東北農研)
P104	<i>Brassica napus</i> とその両親種 (<i>B. rapa</i> , <i>B. oleracea</i>) 間の雑種胚珠発生時における遺伝子群の解析 玉田深平・福島香・○横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
P105	Morphological and anatomical observations of roots during the phase of thickening in radish (<i>Raphanus sativus</i>) plants ○H. Zaki・加藤俊一・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
P106	塩ストレス下におけるシロイヌナズナ開花関連遺伝子変異体の生理学的解析 ○久保隆洋・河合成直・高畑義人・横井修司(岩手大農)
P107	シロイヌナズナ花成促進遺伝子 TRT1, 3 の発現はPHYBにより制御される ○津和本亮・原田竹雄(弘前大農学生命科学)
P108	セイヨウナタネ小胞子由来不定胚における乾燥耐性獲得関連遺伝子の発現解析 ○後藤歩・晴山聖一・高畑義人・横井修司(岩手大学農学部)

9. 増殖・生殖

P109	イネ種間交雑における生息隔離と花粉管伸長の量的解析 ○M. Shenton・倉田のり(遺伝研植物遺伝)
P110	<i>F₁</i> 遺伝子による稔性回復個体においてCMS遺伝子 <i>orf125</i> はサブリモンとして存在する ○渡邊みずき ¹ ・大嶋雅夫 ² ・肥塚信也 ¹ ・半田裕一 ³ ・今村順 ¹ (1. 玉川大農2. 筑波大院生命環境3. 農業生物資源研)

P111	SSRマーカーによるテンサイの花粉飛散距離の推定 ○黒田洋輔・高橋宙之・田口和憲・岡崎和之・阿部英幸(農研機構・北農研センター)
P112	雄性不稔スギ「爽春」の花粉崩壊過程と候補遺伝子の発現解析 ○坪村美代子 ¹ ・栗田洋 ² ・渡辺敦史 ¹ (1. 森林総研森林木育種センター ² . 森林総研森林バイオ研究センター)
P113	イチゴ2倍体野生種(<i>Fragaria vesca</i>)とイチゴ栽培種(<i>F. x ananassa</i>)の交雑後代の交雑性の評価(その2) ○木村貞志 ¹ ・菅根一純 ¹ ・柳智博 ² ・北谷恵美 ¹ ・沖村誠 ¹ (1. 農研機構・九州沖縄農研 ² . 香川大農)
P114	ギニアグラスにおけるアポスポリー性胚嚢始原細胞由来の胚嚢形成過程の微細解析 ○陳蘭 ¹ ・関黎明 ² (1. 南九州大園芸 ² . 宮崎大教育文化)

10. ゲノム解析・DNAマーカー

P115	イネの収量関連形質に関する遺伝解析 ○山村卓也 ¹ ・柴田洋佑 ² ・土井一行 ³ ・池田真由子 ³ ・高師知紀 ⁴ ・芦荻基行 ⁵ ・松岡信 ⁵ ・北野英己 ⁵ (1. (株)アースノート ² . 愛教大院教育 ³ . 名大院生命農学 ⁴ . HRI-JP5. 名大生物機能開発利用研究センター)
P116	染色体導入系統で検出した多収性イネ品種ホシアオバ由来の一穂粒数に関与するQTL ○小出陽平 ^{1,2} ・藤田大輔 ¹ ・A. Tagle ¹ ・Telebanco-YanoriaMary Jeanie ¹ ・福田善通 ² ・小林伸哉 ^{1,2} (1. 国際稲研究所 ² . 国際農研)
P117	カドミウム汚染水田を修復するファイトレメディエーション用イネ品種の育成 1. カドミウム吸収に関わる遺伝解析 ○安部匡 ¹ ・田口(塩原)文緒 ² ・小島洋一郎 ^{3,4} ・蛭谷武志 ³ ・倉俣正人 ¹ ・森伸介 ¹ ・山本敏央 ² ・矢野昌裕 ² ・石川覚 ¹ (1. 農業環境技術研 ² . 農業生物資源研 ³ . 富山県農林水産総合技術センター ⁴ . 高岡農林振興センター)
P118	イネ第9染色体に座乗するアミロース含有率を低下させるQTLの解析 ○竹本陽子 ¹ ・竹内 善信 ¹ ・平林秀介 ¹ ・安東 郁男(作物研究所)
P119	近縁野生種ルフィポゴンの穂発芽耐性QTLのマッピング ○竹内善信 ¹ ・平林秀介 ¹ ・杉本和彦 ² ・矢野昌裕 ² ・安東郁男 ¹ (1. 作物研 ² . 生物研)
P120	<i>Oryza officinalis</i> 由来の早期開花性のQTL解析と第3染色体上のQTLの効果 ○平林秀介 ¹ ・神戸崇 ^{1,2} ・竹本陽子 ¹ ・池田延行 ¹ ・竹内善信 ¹ ・小川紹文 ³ ・安東郁男 ¹ (1. 作物研究所 ² . 新潟県農総研 ³ . 宮崎大)
P121	種子登熟期の温度に反応したイネの種子休眠性に関するQTL解析 ² . 後代系統によるQTLの評価 ○手塚大貴 ¹ ・穴戸理恵子 ¹ ・野村和成(日本大生物資源)
P122	イネ品種JamaicaとIR36との交雑後代にみられた雑種崩壊現象に関わる遺伝子の連鎖分析 ○飯山光太郎 ¹ ・竹本祐真 ¹ ・田浦悟 ² ・佐藤宗治 ¹ ・一谷勝之 ¹ (1. 鹿大農 ² . 鹿大遺伝子遺伝子実験施設)
P123	新潟県米品種識別用DNAマーカーによるバルク純度検定 ○田淵宏朗 ¹ ・橋本憲明 ² ・林敬子 ³ ・吉田均 ¹ (1. 農研機構中央農研 ² . 北陸 ³ . 新潟農総研 ³ . 農研機構中央農研)
P124	トランスポゾン <i>mPing</i> の品種間多型とそれを利用したイネ品種判別 ○岸根雅宏 ¹ ・鈴木啓太郎 ¹ ・奥西智哉(農研機構・食総研)
P125	イネの根の遺伝子発現プロファイリング ○竹久妃奈子 ¹ ・五十嵐元子 ¹ ・佐藤豊 ¹ ・安彦友美 ² ・本山立子 ¹ ・B. Antonio ¹ ・犬飼義明 ³ ・中園幹生 ² ・長村吉晃 ¹ (1. 生物研 ² . 東大農学生命科学 ³ . 名大院生命農学)
P126	イネ種子の胚に存在するRNA結合タンパク質のプロテオーム的解析 ○廣岡友子 ¹ ・佐野直人 ¹ ・正木俊平 ¹ ・山田哲也 ¹ ・金勝一樹(農工大・農)
P127	インド型イネ品種IR64を遺伝的背景とする出穂および一穂粒数の準同質遺伝子系統の作出 ○小林伸哉 ^{1,2} ・藤田大輔 ¹ ・A. Tagle ¹ ・Telebanco-YanoriaMary Jeanie ¹ ・小出陽平 ^{1,2} ・福田善通 ² (1. 国際稲研究所 ² . 国際農研)
P128	小麦栽培品種におけるコムギ縞萎縮病抵抗性遺伝子 <i>Ymb</i> 近傍のDNAマーカーを用いた多型調査 ○小島久代 ¹ ・西尾善太 ² ・松中仁 ³ ・関昌子 ¹ ・蝶野真喜子 ¹ ・乙部千雅子 ¹ ・小田俊介 ¹ (1. 作物研究所 ² . 北農研 ³ . 九州沖縄農業研究センター)
P129	パンコムギ組換え近交系統を用いた連鎖地図の作成と出穂・開花および稈長に関与するQTL解析 ○小林史典 ^{1,2} ・宅見薫雄 ³ ・半田裕一 ¹ (1. 生物研 ² . 日本学術振興会特別研究員 ³ . 神戸大院農)
P130	市販キットを用いた小麦使用菓子類からの簡便迅速なDNA抽出法 ○村上恭子 ¹ ・藤田由美子 ² ・本田雄一 ¹ (1. 香川県農業試験場 ² . 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究セ)
P131	DNAマーカーを利用したビール大麦における被害粒耐性系統の選抜効果 ○甲斐浩臣 ¹ ・高田衣子 ¹ ・塚崎守啓 ¹ ・内村要介 ¹ ・山口修 ² ・古庄雅彦 ¹ ・馬場孝秀 ¹ (1. 福岡県農業総合試験場 ² . 中央農研北陸セ)
P132	ダイズの褐斑抵抗性に関するQTL解析 ○猿田正恭 ¹ ・高田吉丈 ¹ ・岡部昭典 ¹ ・佐山貴司 ² ・笹間博子 ² ・石本政男 ² (1. 近中四農研 ² . 北農研)
P133	ナタネにおけるミトコンドリアプラスミドの父性遺伝に関するQTL解析 ○大嶋雅夫 ¹ ・半田裕一 ^{1,2} (1. 筑波大学院生命環境 ² . 農業生物資源研)
P134	イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 <i>Xa14</i> のマッピング ○重山貴文 ¹ ・一谷勝之 ¹ ・河邊弘太郎 ² ・佐藤宗治 ¹ ・○田浦悟 ² (1. 鹿児島大農 ² . 鹿児島大遺伝子実験施設)
P135	イネ雑種黄化原因遺伝子 <i>hca1</i> , <i>hca2</i> の高密度連鎖解析 ○竹本祐真 ¹ ・飯山光太郎 ¹ ・白田祐希 ¹ ・田浦悟 ² ・佐藤宗治 ¹ ・一谷勝之 ¹ (1. 鹿大農 ² . 鹿大遺伝子実験施設)
P136	ラッカセイにおけるSSRマーカーを用いた連鎖地図作成 ○内藤嘉磯 ¹ ・鈴木茂 ² ・長谷川誠 ² ・渡邊学 ² ・久保山勉 ³ ・遠山和宏 ³ ・磯部祥子 ⁴ ・佐藤修正 ⁴ ・白澤健太 ⁴ ・笹本茂美 ⁴ ・田畑哲之 ⁴ (1. 三菱化学メディアエンス株 ² . 千葉県農林総合研究センター ³ . 茨城大農 ⁴ . かずさDNA研究所)
P137	パンコムギにおける配偶子致死抑制遺伝子 <i>Igc1</i> の放射線雑種マッピング ○山野聡一 ¹ ・辻本壽 ² ・新田みゆき ¹ ・遠藤隆 ¹ ・那須田周平 ¹ (1. 京大院農学応用生物 ² . 鳥大農学)
P138	AFLP法によるイチゴの萎黄病抵抗性マーカーの探索と解析 ○掛田克行 ¹ ・山本有子 ² ・世古裕輝 ¹ ・扇山景子 ¹ ・森利樹 ² (1. 三重大生物資源 ² . 三重県農業研究所)
P139	ギニアグラスのアポミクス遺伝子領域に座乗する遺伝子の探索 ○高原学 ¹ ・蝦名真澄 ¹ ・飯村敬二 ¹ ・高溝正 ¹ ・中川仁 ² (1. 農研機構・畜産草地研究所 ² . 農業生物資源研)
P140	RT-PCR法によるアマランサス(<i>Amaranthus cruentus</i>)のデンプン合成酵素遺伝子の発現解析 ○朴永俊 ¹ ・根本和洋 ² ・西川智太郎 ³ ・松島憲一 ² ・南峰夫 ² ・川瀬真琴 ³ (1. 信州大院総合工 ² . 信州大院農 ³ . 農業生物資源研究所)

講演番号・座長一覧

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場
	農学部総合館 W-100	農学部総合館 W-214	農学部総合館 W-314	農学部総合館 W-322	農学部総合館 W-422	理学部6号館 301号室	理学部6号館 401号室
27日午前	101-104 清水顕史 9:00-10:00	201-204 吹野伸子 9:00-10:00	301-304 川浦加奈子 9:00-10:00	401-404 矢野健太郎 9:00-10:00	501-504 西田英隆 9:00-10:00	601-604 佐山貴司 9:00-10:00	701-704 一谷勝之 9:00-10:00
	105-108 山本敏央 10:00-11:00	205-208 土生芳樹 10:00-11:00	305-308 高木恭子 10:00-11:00	405-408 秋本正博 10:00-11:00	505-508 経塚淳子 10:00-11:00	605-608 坂 紀邦 10:00-11:00	705-708 福岡修一 10:00-11:00
	109-112 宮尾安藝雄 11:00-12:00	209-212 室田有里 11:00-12:00	309-312 雑賀啓明 11:00-12:00	409-412 武田 真 11:00-12:00	509-512 高牟禮逸朗 11:00-12:00	609-612 山田哲也 11:00-12:00	709-712 近藤勝彦 11:00-12:00
27日午後	113-116 田中淳一 13:15-14:15	213-216 船附稚子 13:15-14:15	313-316 矢頭治 13:15-14:15	413-416 近江戸伸子 13:15-14:15	513-516 小松田隆夫 13:15-14:15	613-616 柳沢貴司 13:15-14:15	713-716 鴻坂扶美子 13:15-14:15
	117-120 佐藤和広 14:15-15:15	217-220 山岸真澄 14:15-15:15	317-320 石川吾郎 14:15-15:15	417-420 山口 聡 14:15-15:15	517-520 村井耕二 14:15-15:15	617-620 石井卓朗 14:15-15:15	717-720 安井秀 14:15-15:15
	121-124 小森俊之 15:15-16:15	221-224 河野雄飛 15:15-16:15	321-324 佐塚隆志 15:15-16:15	421-424 福田善通 15:15-16:15	521-525 宅見薫雄 15:15-16:30	621-623 齊藤美香 15:15-16:00	721-724 福永健二 15:15-16:15
		225-228 岩田洋佳 16:15-17:15		425-428 風間智彦 16:15-17:15		624-626 和田卓也 16:00-16:45	

2日目(3月27日)午前

3月27日	第1会場(農学部総合館W-100)	第2会場(農学部総合館W-214)	第3会場(農学部総合館W-314)	第4会場(農学部総合館W-322)
9:00	◆座長 清水顕史(滋賀県立大) 101 日本稲の多様性解析のコアSNPの選定 ○長崎英樹・江花薫子・柴谷多恵子・山本敏夫・米丸淳一・矢野昌裕(生物研QTLゲノム育種研究センター)	◆座長 吹野伸子(野茶研) 201 インド型水稲品種「塩選203号」由来の玄米胸割れ難性系統の選抜とQTL解析 ○中込弘二・山口誠之・梶亮太・佐藤秀樹(東北農研)	◆座長 川浦加奈子(横浜市立大) 301 種子貯蔵タンパク質欠失ダイズを用いた外来タンパク質の高度蓄積 ○高木恭子1・西澤けい1・廣瀬亜矢1・長谷川久和2・丸山伸之3・内海成3・寺川輝彦2・石本政男1(1.北農研2.北興化学工業3.京大院農)	◆座長 矢野健太郎(明治大) 401 マレーシア半島地域におけるニンバヤシ(<i>Nyssa fruticans</i>)自生地のフィールド調査 ○辻耕治1.2・M. Ghazali3・M. Khaidizar3・Z. Ariffin3・M. Dulloo4・L. Sebastian1・M. Nordin3(1. Bioersity International APO2. 国際共同研究人材育成推進・支援事業3. MARDI4. Bioersity International HQ, Rome, Italy)
9:15	102 多様なイネ品種解析を目的としたSNPリソースの比較 ○江花薫子・長崎英樹・米丸淳一・柴谷多恵子・矢野昌裕(農業生物資源研究所)	202 イネ低温発芽性QTLsにおける遺伝子間相互作用の同定 ○岩田夏子・藤野賢治(ホクレン農業総合研究所)	302 種子貯蔵タンパク質欠失変異ダイズを用いたアルツハイマー病エピソード形質転換体の作出および解析 ○長谷川久和1・高木恭子2・西澤けいと2・石本政男2・丸山伸之3・内海成3・寺川輝彦1(1.北興化学開発研2.北農研3.京大院農)	402 日本産タケ運植物の遺伝育種学的研究XXVIII. 日本列島に分布する属の起原の違いによる分類 ○村松幹夫(岡山大学名誉教授)
9:30	103 SNPアレイを用いて推定した日本の超多収イネ品種群のゲノム構成 ○山本敏夫・米丸淳一・江花薫子・矢野昌裕(農業生物資源研究所)	203 バンコムギ組換え近交系統を用いた低温応答遺伝子のExpression QTL解析 ○本村洋一1・小林史典2.3・宅見薫雄1(1.神戸大農学2.生物研3.日本学術振興会特別研究員)	303 ゴマ種子初期成熟過程で特異的に発現する転写因子の構造・機能解析 今小路永嗣1・種坂英次1・山本将之2・山田恭司2・吉田元信1(1.近畿大農学2.富山大理工)	403 イネ属AAゲノム野生植物における形態・生活史特性の変異 ○秋本正博1・森島啓子2.1(帯広畜産大学2.遺伝研名誉教授)
9:45	104 全ゲノム塩基配列解析による日本型イネ品種間のSNP検出とその利用 ○吉瀬(新井)祐子1・江花薫子2・長崎英樹2・志波優1・吉川博文1.3・矢野昌裕2・若狭暁1.4(1.東京農大.生物資源ゲノム解析センター2.生物研.QTLゲノム育種研究センター3.東京農大.応生科・バイオ4.東京農大.農)	204 赤外線サーモグラフィを用いたイネの葉面温度差に関するQTL解析 ○一家崇志1・高井俊之2・山本敏夫1・矢野昌裕1(1.生物研2.作物研)	304 細胞融合によりタバコから形質転換葉緑体を導入したベチュニアのゲノム構造および生育特性 ○村上亮太・重野麻子・寺地徹・山岸博(京都産大工)	404 日本型イネの核ゲノムに記録された葉緑体DNAの進化 ○中村郁郎1・高橋弘子1・加藤さやか2・田中克典3・佐藤洋一郎3(1.千葉大園芸学研究所2.千葉大園芸3.地球研)
10:00	◆座長 山本敏夫(生物研) 105 イネソマクロナルバリエーションの全ゲノム塩基配列解析.新たな変異リソース ○宮尾安雄雄1・中込マコ1・大沼貴子1・山形晴美2・金森裕之2・伊川浩司2・高橋章3・松本隆1・廣近洋彦1(1.生物研基礎2. STAFF研3.生物研植物科学)	◆座長 土生芳樹(生物研) 205 <i>Brassica rapa</i> と <i>Raphanus sativus</i> の属間交雑における雑種胚崩壊性のQTL解析 ○殿崎薫1・道場和也2・北柴大泰1・房相佑2・金子幸雄2・西尾剛1(1.東北大学大学院農学研究所2.宇都宮大学農学部)	◆座長 高木恭子(北農研) 305 活性酸素消去オペロンを葉緑体に持つ組換えタバコの作出と解析 ○山本裕範・寺地徹(京産大工)	◆座長 秋本正博(帯畜大) 405 <i>Oryza</i> 属におけるオセアニア型とアジア型 <i>rufipogon</i> の系統分化 ○石川隆二1・本多剛志1・ハオイン1・田中克典2・一谷勝之3・中村郁郎4・佐藤雅志5・佐藤洋一郎2(1.弘大農生2.総合地球研3.鹿大農4.千葉大院園5.東北大院生名学)
10:15	106 高速シーケンサーによる全mRNAの配列決定と遺伝子予測 ○水野浩志1・川原善浩1・坂井寛章1・大野陽子1・金森裕之2・山本麻由2・伊川浩司2・伊藤剛1・松本隆1(1.農業生物資源研2.農林水産先端技術研)	206 バンコムギの交雑親和性に関するQTL解析と花粉管伸長の品種間差異 ○三科興平1・勝又未久1・A. Manickavelu1.2・佐々英徳1・木庭卓人1(1.千葉大学大学院園芸学研究所2.横浜国立大学木原生物学研究所)	306 イチゴ花托プロモーターの開発 ○古田和義・加賀谷羽衣子・田林紀子(北海三共株式会社農業科学研究所)	406 イネ垂種間交雑で生殖的隔離を引き起こすDOPPELGANGER(DPL)1とDPL2の解析 ○水多陽子1.2・春島嘉章1・倉田のり1.2(1.遺伝研・植物遺伝2.総研大生命科学)
10:30	107 In plantaアッセイ系によるDNAのメチル化抑制効果をもつ植物成分の検出 ○荒瀬幸子・太田垣駿吾・喜多村啓介・金澤章(北大.院.農)	207 <i>Brassica oleracea</i> と <i>Brassica rapa</i> の根こぶ病抵抗性QTLに関する比較ゲノム学的研究 ○長岡朝彦1・M. Doullar1・松元哲2・川崎信二3・石川寿樹1・堀秀隆1・岡崎桂一4(1.新潟大院自然科学2.野菜茶研3.生物研4.新潟大農)	307 アレルゲン低減化コシヒカリ系統の開発戦略 ○若佐雄也1・松田幹2・高岩文雄1(1.生物研2.名古屋院生命農学)	407 花粉形成に必要な遺伝子の重複と喪失が <i>O. sativa</i> と <i>O. glumaepatula</i> 間のF1花粉不稔の原因となっていた ○山形悦透1・山本英司2・安益公一郎2・K. Win1・土井一行1・S. Sobrizal1・伊藤友子3・金森裕之3・吳健志4・松本隆4・松岡信2・戸邇基行2・吉村淳1(1.九大院農2.名大生物機能3. STAFF研4.生物研)
10:45	108 ダイズゲノムにおける活性型転移因子の探索 ○伊藤洋介・寺石政義・谷坂隆俊・齊藤大樹・羽生剛・寺本翔太・中崎鉄也・北島宣(京大院農)	208 QTL mapping for yield and yield contributing traits in sorghum (<i>Sorghum bicolor</i> L. Moench) by genomic-based SSR markers ○T. Shehzad1・岩田洋佳2・奥野員敏1(1.筑波大生命環境2.中央農研)	308 計画的な変異導入によるトリフトファン高蓄積イネの作出 ○雑賀啓明1・及川彰2・松田史生2・小野寺治子1・斉藤和幸2.3・土岐精一1.4(1.生物研2.理研PSC3.千葉大院薬学4.横浜大木原生研)	408 皮性・裸性を支配するNud遺伝子の多型からみた栽培オオムギの起源 ○武田真1・辻野泰弘1・湯尾崇央1・最相大輔1・漆川直希1・春山直人2・大関美香2(1.岡山大資生研2.栃木農試)

2日目(3月27日)午前

第5会場(農学部総合館W-422)	第6会場(理学部6号館301号室)	第7会場(理学部6号館401号室)	3月27日
<p>◆座長 西田英隆(岡山大)</p> <p>501 浸透圧ストレス下でのイネ根系の分枝を促進するLMS1遺伝子の解析 ○中村真也・出口崇・木富悠花・山内章・犬飼義明(名大院生命農学)</p> <p>502 CROWN ROOTLESS5遺伝子によるイネ冠根形成の制御機構 ○木富悠花1・北野英己2・犬飼義明1(1.名大院生命農学2.名大生物機能開発セ)</p> <p>503 ストリゴラクトンによるイネ分げつ成長の制御 水口皓介1・亀岡啓1・安野奈緒子1・L Luo1・梅原三貴久2・花岡敦志2・山口信次郎2・○経塚淳子1(1.東大農学生命科学2.理研植物科学センター)</p> <p>504 イネと他のイネ科植物におけるLONG STERILE LEMMA1(G1)遺伝子の解析 ○吉田明希子・平野博之(東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 進化遺伝学研究室)</p>	<p>◆座長 佐山貴司(北農研)</p> <p>601 国内産小麦の製粉性評価に関する研究.7.高製粉性小麦品種「きたほなみ」の粉体特性評価 ○中村洋(農研機構作物研究所)</p> <p>602 コムギ品種「きたほなみ」の後代系統における製粉特性と高製粉性系統の選抜 ○吉村康弘・西村努・小林聡(北見農試)</p> <p>603 自然発病条件におけるコムギ赤かび病抵抗性系統の選抜 ○神野裕信1・相馬潤1・足利奈奈2・来嶋正明2・佐藤導謙1,3・鈴木孝子1・阿部珠代1・吉村康弘2・藤田正平1(1.北海道立中央農業試験場2.北海道立北見農業試験場3.現佐藤技術士事務所)</p> <p>604 複数の栽培環境におけるいもち病圃場抵抗性遺伝子<i>pi21</i>の収量性に対する影響 ○坂紀邦1・富田桂2・永野邦明3・片岡知守4・安東郁男5・永吉嘉文6・中込弘二7・山口誠之7・前田英郎5・佐藤宏之8・石井卓郎5・寺島竹彦1・水上優子1・福岡修一9(1.愛知農試山間2.福井農試3.宮城古川農試4.九州農研セ5.作研6.宮崎総農試7.東北農研セ8.農水省9.生物研)</p>	<p>◆座長 一谷勝之(鹿児島大)</p> <p>701 日本晴/コシヒカリの異し交雑系統および染色体断片置換系統を用いたイネいもち病圃場抵抗性のQTL解析 ○福岡修一1・坂紀邦2・溝淵律子1・堀清純1・矢野昌裕1(1.生物研2.愛知農試山間)</p> <p>702 突然変異を利用したイネの白葉枯病圃場抵抗性関連するXC20遺伝子の単離と機能解析 ○青木秀之1・山元剛1・宮尾安藝雄2・廣近洋彦2・矢頭治1(1.中央農研2.生物研)</p> <p>703 A set of near-isogenic lines of an Indica-type rice variety, CO 39 used as differential varieties for blast resistance ○Telebanco-YanoriaMary Jeanie1・小出陽平1,2・福田善通2・井辺時雄3・常松浩史4・加藤浩4・L. Ebron1・N. Nguyen5・小林伸哉1,2(1.国際イネ研究所2.国際農研3.九州沖縄農研4.作物研5. Agricultural Genetics Institute)</p> <p>704 エリシターにより発現誘導されるイネ膜結合型 ubiquitin ligase EL5と相互作用するタンパク質の解析 ○近藤勝彦・小岩井花恵・望月進・岸本久太郎・加藤悦子・南栄一・西澤洋子(農業生物資源研究所)</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p>
<p>◆座長 経塚淳子(東大)</p> <p>505 イネ細葉変異体 <i>slender leaf</i> の解析 ○吉川貴徳・小野絵里・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)</p> <p>506 イネの NARUTOMAKI 遺伝子は葉の巻性と生存に影響する ○Yew Chow Lih・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)</p> <p>507 イネのメバロン酸経路の遺伝子 SEGMENTED EMBRYO は胚の分割を抑制する ○高階泰宗・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)</p> <p>508 イネ小穂の形態形成に関わる突然変異遺伝子の相互作用 - <i>epd1</i>(<i>OsMADS6</i>) と 2 種の遺伝子 [<i>hs1</i>(葉化不発・<i>OsMADS1</i>)・<i>dp1-db2</i>(重外穎)] - ○高幸禮逸朗1・中居練1・高橋美帆子1・佐野芳雄1・石川隆二2(1.北大院農2.弘大農学生命科学)</p>	<p>◆座長 坂紀邦(愛知農試)</p> <p>605 <i>spw1-cl5</i> 変異を持つイネの特性と開花受粉性への温度の影響 ○大森伸之介1・小池説夫2・林高見2・山口知哉2・黒木慎3・佐藤裕3・山口誠之2・梶亮太2・中込弘二2・永野邦明4・遠藤貴司4・大島正弘5・芦田かなえ6・高嶺典子7・田淵宏朗1・矢頭治1・吉田均1(1.中央農研北陸研セ2.東北農研3.北海道農研4.宮城県農試5.作物研6.近中四農研7.九州農研)</p> <p>606 ダイズ難裂莢性を支配する主要な QTL "<i>qPDH1</i>" の北海道における有効性 ○萩原誠司1・藤田正平2・田中義則1・船附秀行3・石本政男3(1.道立十勝農試2.道立中央農試3.北農研センター)</p> <p>607 DNAマーカーを利用した黄化病抵抗性いんげんまめ(金時類)新品種「十育B78号」の育成 ○奥山昌隆1・竹内徹2・江部成彦3・佐藤仁1・島田尚典1(1.道立十勝農試2.道立中央農試3.道立北見農試)</p> <p>608 ダイズの低温着色抵抗性とシストセンチュウレース1抵抗性を合わせ持つ系統の選抜 ○鈴木千賀1・竹内徹2・木口忠彦2・山口直矢1・三好智明1・大西志全2(1.北海道立十勝農業試験場2.北海道立中央農業試験場)</p>	<p>◆座長 福岡修一(生物研)</p> <p>705 コムギにおける薬の抽出程度と赤かび病の感染に対する抵抗性との関係 ○久保堅司1・河田尚之1・藤田雅也1・八田浩一1・松中仁1・小田俊介2・牛山智彦3・中村和弘4・中島隆1(1.農研機構九州沖縄農研2.農研機構作物研3.長野農試4.農研機構東北農研)</p> <p>706 汁液接種によるコムギ縮萎縮ウイルス(WYMV) III型系統抵抗性遺伝資源のスクリーニング ○八田浩一1・藤田雅也1・小田俊介2(1.九州沖縄農研2.作物研)</p> <p>707 F2集団および半数体倍加系統を用いたオオムギ雲形病抵抗性遺伝解析 ○山口修・伊藤誠治(中央農研北陸セ)</p> <p>708 オオムギ縮萎縮病の発生と特徴 ○高山敏之1・高橋飛鳥2・野見山孝司2・柳沢貴司2・石川浩一2(1.栃木県農業試験場栃木分場2.農研機構近中四農研)</p>	<p>10:00</p> <p>10:15</p> <p>10:30</p> <p>10:45</p>

3月27日	第1会場 (農学部総合館W-100)	第2会場 (農学部総合館W-214)	第3会場 (農学部総合館W-314)	第4会場 (農学部総合館W-322)
	◆座長 宮尾安藝雄 (生物研)	◆座長 室田有里 (千葉農試)	◆座長 雑賀啓明 (生物研)	◆座長 武田真 (岡山大)
11:00	109 カドミウム高蓄積イネ‘長香穀’の地上部へのカドミウム移行機構 平泉彩1・安達早希1・宮舘秀典1・手塚耕一1・佐藤奈美子1・渡辺明夫1・櫻井健二1・高橋秀和1・川本朋彦2・加藤和直2・小玉郁子2・眞崎聡2・○赤木宏守1(1. 秋田県立大生物資源2. 秋田県農林水産技術センター)	209 大豆種子粒重のQTL <i>qSw1</i> が粒形に与える影響 ○加藤信1・佐山貴司2・湯本節三1・石本政男2・河野雄飛1・黄大暎2・中本有美2・高田吉丈3・菊池彰夫1(1. 東北農研2. 北農研3. 近中四農研)	309 節管長距離輸送siRNAシグナルによる内生遺伝子のサイレンシング ○葛西厚史・兼平杏美・原田竹雄(弘前大学農学生命科学部)	409 野生二粒系コムギの穎果における形態と種子休眠性の二型性とその栽培化に伴う変化 ○大田正次・山内彩紗子(福井県大生物資源)
11:15	110 オオムギ染色体導入コムギの機能ゲノム科学IV. 種子登熟過程における遺伝子発現のプロファイル ○唐 建偉・川浦香奈子・神谷容子・萩原保成(横浜市大木原生研)	210 ナシにおけるアソシエーションマッピングとゲノミックセレクションの展望 ○岩田洋佳1・林武司2・寺上伸吾3・高田教臣3・澤村豊3・山本俊哉3(1. 中央農研2. 生物研3. 果樹研)	310 Transcriptional gene silencing by siRNA transported long-distantly through sieve tube. ○白松諭・葛西厚史・原田竹雄(弘前大学農学生命科学部)	410 野生子モフェービ系コムギ <i>Triticum araraticum</i> の多様性解析 ○大谷修平1・K. Chabane2・J. Valkoun2・阿部利徳1・笹沼恒男1(1. 山形大農2. ICARDA)
11:30	111 シロイヌナズナの根における鉄欠乏応答性遺伝子は長距離シグナルに正に制御される ○榎本裕介1.2・橋田慎之介2・庄子和博2・島田浩章1・吉原利一2・後藤文之2(1. 東理大生物工2. 電中研環境科学)	211 イネにおける遺伝子発現情報データベース「RiceXPro」の構築 ○佐藤豊1・B. Antonio1・竹久妃奈子1・本山立子1・杉本和彦1・南博2・釜付香2・並木信和2・清水裕司2・長村吉晃1(1. 生物研2. 三菱スペース・ソフトウェア(株))	311 <i>Brassica maurorum</i> 細胞質をもつ異質細胞質ダイコン系統における細胞遺伝学のおよび分子生物学的特性 ○筒井康太・房相佑・金子幸雄(宇都宮大農)	411 Genetic mapping of gibberellic acid-sensitive and -insensitive reduced height genes in durum wheat ○A. Haque1.2・渡部信義1.2・久保山勉1.2(1. 農工大院連農2. 茨大農)
11:45	112 イネの病害抵抗性に関するタンパク質群のジスルフィドプロテオーム解析 ○森野和子・矢頭治(農研機構 中央農研・北陸)	212 イネ初期生長特性のフェノーム解析 ○土生芳樹(生物研植物科学)	312 <i>Brassica maurorum</i> の細胞質をもつ雄性不稔ダイコンにおけるミトコンドリア遺伝子転写産物の解析 ○安本景太1・筒井康太2・房相佑2・寺地徹1・山岸博1(1. 京都産大工2. 宇都宮大農)	412 SSRおよびDA-Tマーカーによるコムギ育種材料の多様性解析 ○石川吾郎1・松浦由紀子1・中村和弘1・伊藤裕之1・西村努2・吉村康弘2・前島秀和3・丸山泰3・齊藤美香1・中村俊樹1(1. 農研機構 東北農研2. 道立北見農試3. 長野農試)

2日目 (3月27日) 午後

12:10	男女共同参画推進委員会主催 ランチョンセミナー 第1会場 (農学部総合館W-100) 「京都大学の男女共同参画の現状-女性研究者支援センターの活動を通して-」 講師：稲葉 カヨ (京都大学大学院生命科学系研究科教授、女性研究者支援センター長 (先着50名様までお弁当とお茶を配付いたします))			
	◆座長 田中淳一 (野菜研)	◆座長 船附稚子 (北農研)	◆座長 矢頭治 (中央農研)	◆座長 近江戸伸子 (神戸大)
13:00	◆座長 田中淳一 (野菜研)	◆座長 船附稚子 (北農研)	◆座長 矢頭治 (中央農研)	◆座長 近江戸伸子 (神戸大)
13:15	113 コシヒカリの第3染色体短腕の良食味QTLにおけるゲノム情報を活用した置換系統群の作出 ○堀清純1・竹内善信2・長崎英樹1・安東郁男2・矢野昌裕1(1. 生物研2. 作物研)	213 スカシユリの <i>LhMYB12</i> 遺伝子は花被片におけるアントシアニン生合成を制御している ○山岸真澄1・下山田善裕2・中塚貴司3・増田清1(1. 北大院農2. 北大院農3. 岩手生工研)	313 二粒系コムギとタルホコムギの雑種にみられるハイブリッドネクロシスの解析 ○水野信之・宅見薫雄(神戸大農学)	413 ダイズ遺伝資源における変異遺伝子の探索と利用 ○佐山貴司・諏訪間崇治・小松邦彦・石本政男(北農研)
13:30	114 染色体組換え置換によるオオムギアルミニウム耐性同質遺伝子系統の開発 ○佐藤和広・馬建鋒(岡山大学資源生物科学研究所)	214 シクラメン黄色品種 (<i>Cyclamen persicum</i>)と芳香性野生種 (<i>C. purpurascens</i>)の雑種の花色素と香り成分の解析 ○亀有直子1・近藤恵美子1・中山真義2・谷川奈津2・森田裕将2・栗原康3・早乙女孝3・○石坂宏1(1. 埼玉農総研2. 農研機構花き研3. 小川香料(株))	314 <i>Brassica rapa</i> 1染色体添加型ダイコンによるAゲノム染色体と連鎖地図との対応 ○赤羽美智子1・房相佑2・金子幸雄2(1. 岩手大学農学部2. 宇都宮大学農学部)	414 コムギにおける不感光性遺伝子 <i>Ppd-A1</i> および <i>Pod-B1</i> の多様性と地理的分布 ○西田英隆・芝井哲史・吉田哲也・明石由香利・加藤謙司(岡山大院自然)
13:45	115 トマト4元交雑由来の分離集団に対する連鎖地図の作成 ○大山暁男1・林武司2・松永啓1・根来里美1・宮武宏治1・山口博隆1・布目司1・福岡浩之1(1. 野菜茶研2. 生物研)	215 タデ科植物のメタボローム解析 ○宮城敦子1・高原健太郎1・川合真紀1.2・内宮博文1.3.4(1. 東大分生研2. 埼玉大理工3. 埼玉大環境科学センター4. 岩手生工研)	315 エンバクとパールミレットの雑種胚由来細胞における特定パールミレット染色体の残存 ○石井孝佳・田中裕之・辻本壽(鳥取大学大学院農学研究科)	415 チャの起源と伝播に関する研究VIII. 寧波および顧渚地域の茶樹の特徴 ○山口聡1・陳亮2(1. 玉大農2. 中国茶葉研)
14:00	116 キュウリSSRベース連鎖地図の作成並びにキュウリおよびメロンのレファレンスマップとの対応 ○吹野伸子・吉岡洋輔・坂田好輝・松元哲(野菜茶研)	216 炊飯米のメタボロームプロファイルから食味を推定する ○後藤元1・佐野智義2・大友一子1・結城和博2・曾我朋義1(1. 慶大先端研2. 山形県農総研3. 水田農試)	316 野生種の反復配列を利用したパールミレット染色体マーカーの作製 ○松本直也1・石井孝佳2・田中裕之1.2・辻本壽1.2(1. 鳥取大学農学部2. 鳥取大学大学院農学研究科)	416 採種圃場環境の差がテンサイ一代雑種種子に及ぼす影響 ○高橋宙之・田口和憲・岡崎和之・黒田洋輔・阿部英幸(農研機構・北海道農業研究センター)

第5会場 (農学部総合館W-422)	第6会場 (理学部6号館301号室)	第7会場 (理学部6号館401号室)	3月27日
<p>◆座長 高牟禮逸朗 (北海道大)</p> <p>509 イネの穂の分枝形成に関わる花序メリステム決定遺伝子の解析 ○安野奈緒子1・佐尾真史1・北口善教1・前川雅彦2・経塚淳子1(1. 東大院 農学生命科学2. 岡山大学 農研)</p> <p>510 シロイヌナズナにおけるヘテロ三量体Gタンパク質βサブユニットの新奇相互作用因子VIP1の機能解析 ○津釜大侑1・伊藤岳2・高橋陽介2・高野哲夫1(1. 東大アジアセンター2. 広島大学)</p> <p>511 低温吸水条件下でのコムギ発芽種籾系統の胚休眠の維持および種皮休眠の打破におけるアブシシン酸代謝の役割 ○柏倉雄一1・小林大佑1・軸丸裕介2・瀬尾光範2・南原 英司2.3・神谷勇治2・川上直人1(1. 明大農2. 理研植物センター3. トロント大細胞システム生物)</p> <p>512 イネ種子休眠を制御するQTL、<i>Sdr-7</i>の単離に向けて ○S. MARZOUGUI1,2・杉本和彦2・竹内善信3・矢野昌裕1,2(1. 筑波大学・生命環境科学2. 農業生物資源研究所3. 作物研究所)</p>	<p>◆座長 山田哲也 (作物研)</p> <p>609 「紅丸」並の高品質でん粉原料用バレイショ「北育13号」の育成 ○池谷聡1・千田圭一1・藤田涼平1・江部成彦1・入谷正樹2・田中静幸1・大波正寿3・古川勝弘1(1. 道立北見農試2. 道立中央農試3. 道立十勝農試)</p> <p>610 サトイモ新品種「緩かぐや」の育成 ○浅海英記・石々川英樹・伊藤史朗(愛媛県農林水産研究所)</p> <p>611 マーカー選抜によるハクサイ根こぶ病抵抗性実用品種の育成 ○松元哲1・宮崎俊夫2・畠山勝徳1・高下新二2・加藤文幸1,3・吹野伸子1・近藤友宏2(1. 野菜茶研2. (株)日本農林3. 三重大生物資源)</p> <p>612 ハクサイF1品種「秋理想」の根こぶ病抵抗性に連鎖するDNAマーカーの作成 ○加藤文幸1,2・松元哲1・畠山勝徳1・吹野伸子1(1. 野菜茶研2. 三重大 生物資源)</p>	<p>◆座長 近藤勝彦 (生物研)</p> <p>709 メロンうどんこ病菌 (<i>Podosphaera xanthii</i>) の市販品種を用いたレース判別の代替法 ○泉川康博・宮城慎(茨城農総生工研)</p> <p>710 テンサイの根腐病抵抗性に関する片側ダイアル分析 ○田口和憲・岡崎和之・高橋宙之・黒田洋輔・阿部英幸(北海道農研)</p> <p>711 マツノサイセンチュウ抵抗性育種事業とマーカー育種に向けた試み ○渡辺敏史1・平尾知士1・井城泰一1・磯田圭哉2(1. 森林総研林育セ2. 森林総研林育セ関西)</p> <p>712 アズキ (<i>Vigna angularis</i>) で認められたダイズシストセンチュウ寄生性の品種間差 ○田澤暁子1・青山聡2・佐藤仁1・島田尚典1(1. 道立十勝農試2. 道立上川農試)</p>	

2日目 (3月27日) 午後			
男女共同参画推進委員会主催 ランチョンセミナー 第1会場(農学部総合館W-100) 「京都大学の男女共同参画の現状-女性研究者支援センターの活動を通して-」 講師: 稲葉 カヨ(京都大学大学院生命科学科教授、女性研究者支援センター長) (先着50名様までお弁当とお茶を配付いたします)			12:10
第5会場 (農学部総合館W-422)	第6会場 (理学部6号館301号室)	第7会場 (理学部6号館401号室)	13:00
<p>◆座長 小松田隆夫 (生物研)</p> <p>513 QTL analysis for spikelet opening time using backcross inbred lines between <i>Oryza sativa</i> Nipponbare and <i>O. rufipogon</i> ○T. Pham・D. Phan・R. Ishikawa・T. Ishii(神大院農)</p> <p>514 花成遅延を引き起こす細胞質置換コムギ系統における出穂特性の解析と花成関連遺伝子の発現解析 嶋田早苗・藤原佑紀・○村井耕二(福井県大生物資源)</p> <p>515 合成6倍体コムギにみられるABDゲノム間相互作用によるWheat FLOWERING LOCUS T (WFT)同祖遺伝子の発現パターン変化 ○藤原佑紀1・嶋田早苗1・宅見薫雄2・村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 神戸大院農)</p> <p>516 タルホコムギにおける2つのCONSTANSホモログの多様性解析 ○岡本恵美・秦野仁志・奥村ゆりか・宅見薫雄(神戸大院農)</p>	<p>◆座長 柳沢貴司 (近中四農研)</p> <p>613 未検証のDNAマーカーを用いた量的形質選抜の有効性について:他種作物における集団改良の場合 ○石井卓朗1・米澤勝衛2・矢野健太郎3・林武司4・岩田洋佳5(1. 作物研2. 京都産大工3. 明治大・農・バイオインフォ4. 生物研5. 中央農研)</p> <p>614 量的形質の選抜方法の最適化に関する研究:選抜の到達点を定める最も重要な要因について ○矢野健太郎1・石井卓朗2・米澤勝衛3(1. 明治大・農・バイオインフォ2. 作物研3. 京都産大・工)</p> <p>615 リアルタイムPCR法を用いたウスヒラタケ無孢子性形質の迅速選抜法 ○奥田康仁1・松本晃幸1・二宮健二2(1. 鳥取大学2. 島津製作所)</p> <p>616 コムギ事業育種におけるDNAマーカー選抜による連続戻し交雑の効率化に関する考察 ○齊藤美香1,2・新畑智也1・伊藤裕之2・乙部干雅子3・石川直幸4・藤田雅也5・石川吾郎2・中村俊樹2(1. 日本製粉株式会社2. 東北農研3. 作物研4. 近中四農研5. 九州沖繩農業研究センター)</p>	<p>◆座長 鴻坂扶美子 (道立中央農試)</p> <p>713 3つの抵抗性遺伝子を保持する大豆系統の大豆さび病抵抗性 ○山中直樹1・N. Lemos1,2・末永一博1(1. 国際農林水産業研究センター2. 州立マリナ大学)</p> <p>714 大豆さび病抵抗性遺伝子<i>Rpp2</i>、<i>Rpp4</i>、<i>Rpp5</i>のQTL解析による特徴付け ○N. Lemos1,2・A. Braccini2・R. Abdelnoor3・末永一博1・山中直樹1(1. 国際農研2. 州立マリナ大学3. ブラジル農牧研究公社大豆研究センター)</p> <p>715 イネのトビイロウンカ抵抗性遺伝子<i>bph20(t)</i>と<i>Bph21(t)</i>に関する近似同質遺伝子系統の東アジア採集トビイロウンカ個体群に対する耐虫性 ○安井秀1・Myint Khin Khin Marlar 1・松村正哉2・吉村淳1(1. 九大院・農2. 九州沖繩農業研究センター)</p> <p>716 種ばらみ低温ストレス耐性に関するQTL解析と候補領域の絞り込み ○汐海沙知子1・遠藤貴司2・中込弘二3・山口誠之3・西尾剛1(1. 東北大院農2. 宮城古川農試3. 東北農研)</p>	
			14:00

3月27日	第1会場 (農学部総合館W-100)	第2会場 (農学部総合館W-214)	第3会場 (農学部総合館W-314)	第4会場 (農学部総合館W-322)
	◆座長 佐藤和広 (岡山大)	◆座長 山岸真澄 (北海道大)	◆座長 石川吾郎 (東北農研)	◆座長 山口聡 (玉川大)
14:15	117 SSRマーカーをランドマークにしたチャの高密度連鎖地図の作成 ○田中淳一・谷口郁也・古川一実 1.2・山口信雄1.3・太田(目録)さくら1・氏原ともみ1・河野いつみ4(1. 農研機構野菜茶業研究所(枕崎)2. 沼津高専3. 広大生物学4. STAFF研)	217 デンプン枝付け酵素1の欠損変異が水稲の餅硬化性に及ぼす影響 ○岡本和之・小菅一真・眞部徹・平山正賢(茨城県農業総合センター 生物工学研究所)	317 H ⁶⁸⁷ を生じる塩基置換がHWCを雑種弱勢原因遺伝子にする ○勝沼法朗1・沖山友哉1・一谷勝之2・渡部信義1・久保山勉1(1. 茨大農2. 鹿児島大農)	417 アブラナ科植物に見られる一創性不和合性を支配する因子の遺伝学的解析 ○高田美信1・鈴木剛2・柴博史3・高山誠司3・磯貝彰3・渡辺正夫1(1. 東北大院生命2. 大阪教育大3. 奈良先端大バイオ)
14:30	118 マイクロアレイを用いた高効率なDNAマーカー技術の開発とサトウキビ高密度連鎖地図の構築 ○榎宏征1・服部太一朗2・寺内方克2・寺島義文2・境垣内岳雄2・西村哲1(1. トヨタ自動車(株)FP部 バイオラボ2. 九州沖縄農業研究センター バイオマス資源作物開発チーム)	218 イネのアミロース含有率に対する二つの遺伝子の相加効果と登熟温度の影響 ○船附稚子1・松葉修一1・黒木慎1・竹内善信2・横上晴都1・清水博之1・安東郁男2(1. 北海道農業研究センター2. 作物研究所)	318 HWCにおけるイネ雑種弱勢誘導原因変異の探索 ○沖山友哉1・勝沼法朗1・一谷勝之2・宮尾安登雄3・廣近洋彦3・渡部信義1・久保山勉1(1. 茨大農2. 鹿児島大農3. 生物研)	418 ペニバナアマにおける異形花型自家不和合性の解析 III. サブトラクションによる花形特異的発現遺伝子の単離 ○牛島幸一郎・坂東麻由・北端利行・久保康隆・中野龍平(岡山大院自然科学)
14:45	119 ダイズの主要な裂葉性QTLに関する高精度DNAマーカーの開発 ○船附秀行1・鈴木雅也2.3・佐藤有沙2・小松邦彦1・石本政男1・藤野介延4(1. 農研機構北海道農研2. 北大農3. 東大アジアセンター4. 北大院農)	219 水稲中部111号(系統名)とその育成系譜上の品種・系統の高温登熟性評価 ○水上優子1・坂紀邦1・中嶋泰則1・寺島竹彦2(1. 愛知県農業総合試験場2. 新設設楽農林水産事務所)	319 低フィチン酸イネ突然変異系統のフィチン酸含有量、収量性、生育特性および突然変異遺伝子の遺伝子について ○矢頭治・青木秀之(農研機構・中央農業総合研究センター北陸研究センター)	419 新規油糧植物ジャトロファの組織培養と染色体構造の解析 西川岳志1・牧野野衣里1・姫野真由美1・J. Cartagena2・M. Witkowska2・福井希一2・土本卓3・O. 近江戸伸子1(1. 神戸大人間発達環境学2. 大阪大工学3. 東大分子細胞生物学)
15:00	120 バンコムギの閉花受粉性に連動するSSRマーカーの同定 ○佐柄友佳子1・新田みゆき1・藤田雅也2・松中仁2・久保堅司2・八田浩一2・那須田周平1(1. 京大院農学2. 農研機構・九州沖縄農研)	220 イネの高温登熟障害は未熟種子のATP含量と強く相関する ○島田浩章1・草野博彰1・シヤク高志1・佐々木忠将1・佐藤光2(1. 東京理科大学2. 九大農)	320 ガンマ線照射によって誘発したスイートソルガムの矮性及び徒長型変異体のスクリーニングと候補遺伝子の解析 R. Ordonio1・徳永毅2・山村卓也1.2・宋献軍1・松本隆3・春日重光4・北野英己1・松岡信1・O. 塚隆志1(1. 名大生物機能開発利用研究センター2. (株)アースノート3. 生物研4. 信州大農附属アルプス圏フィールド科学教育研)	420 アポキシス特異的遺伝子(ASG-1)の形質転換体作出へのアプローチ1 サツマイモ品種『黄金千貫』の葉片培養による効率的な多芽体形成について ○西村佳子1・杜召生2・陳蘭荘1.3(1. 南九州大院園芸・食品科学2. 中国 河南省農業科学院3. 南九州大学園芸)
15:15	◆座長 小森俊之 (日本たばこ)	◆座長 河野雄飛 (東北農研)	◆座長 塚塚隆志 (名古屋大)	◆座長 福田普通 (国際農研)
15:15	121 メロンにおいて父性遺伝するmtlREP及びRAPDマーカーの配列解析とSTS化 山本達也1・明石由香利1・田中克典2・吹野伸子3・松元哲3・西田英隆1・大澤良4・O. 加藤謙司1(1. 岡山大院自然2. 地球研3. 野系研4. 筑波大院生命環境)	221 ダイズの種皮着色抑制に関与するCHS遺伝子由来の内在性siRNAsに関する研究 I. ノーザンブロット分析を用いた解析 松本拓郎・O. 千田峰生(弘前大農学生命科学)	321 レタス根腐病抵抗性に連鎖するDNAマーカーの探索 ○林麻衣1・芹澤啓明2・佐々英徳1・木庭卓人1(1. 千葉大院園芸2. 長野県野菜花き試)	421 <i>Oryza rufipogon</i> 由来の細胞質を持つ稔性回復系統RT61C, RT98C, RT102Cの比較解析 ○風間智彦1・中村翼2・本村惠二2・鳥山欽哉1(1. 東北大. 院. 農2. 琉球大. 農)
15:30	122 ウコンの高クルミン含有系統の分子同定 ○早川宗志1.2・小林徹也2・南谷幸雄1.2・伊藤桂3・宮崎彰2・福田達哉2・山本由徳2(1. 愛媛大院連合農学2. 高知大農3. JSTイノベーションサテライト高知)	222 ダイズの種皮着色抑制に関与するCHS遺伝子由来の内在性siRNAsに関する研究 II. 次世代シーケンサーを用いた解析 ○倉内佑1・種田晃人2・佐野輝男1・千田峰生1(1. 弘前大農学生命科学2. 弘前大理工)	322 「Madsen」由来のコムギ萎縮病抵抗性遺伝子YmMDおよび新規抵抗性遺伝子のマッピング ○鈴木孝子1・新田みゆき2・那須田周平2・吉村康弘3・竹内徹1(1. 道立中央農試2. 京都大院農学3. 道立北見農試)	422 ナス属野生種の細胞質を持つ栽培ナス細胞質雄性不稔(CMS)系統において発現する $atp1f$ および $cox2$ mRNA塩基配列の解析 ○北村嘉邦4・吉見麻衣子1・安本景太1・齋藤猛雄2・一色司郎3・寺地徹1・山岸博1(1. 京都産大工2. 農研機構野茶研3. 佐賀大農4. 信州大農)
15:45	123 千葉県ナバナ(<i>B. rapa</i>)育成系統'暖地早生'の早生性選抜マーカーの開発 ○室田有里1・水野真二1・押切浩江1・片瀬雅彦1・大泉利勝1・青木孝一2(1. 千葉県農業総合研究センター2. 千葉県農業大学校)	223 育種対象としてみた種子塩基性7Sグロブリンの特徴 ○平野 久・秋山知子・山中結子(横浜市大生体超分子)	323 ユビキチン様タンパク質の機能喪失によって誘発されるゲノムの不安定化 ○葉山拓司1・中井由実2・奥本裕1・中田有美1・寺本翔太1・寺石政義1・林秀行2・谷坂隆俊1(1. 京大院農2. 大医生化)	423 ハマダイコンにおける第3の稔性回復遺伝子について ○山岸博・堤厚善・松本欣剛・安本景太(京都産大工)
16:00	124 バレイショ品種'コナフブキ'由来の疫病抵抗性遺伝子(R3)に連鎖するPCRマーカー ○大林憲吾・茶谷正孝(長崎県農林技術開発センター)	224 ダイズ子実中のカルシウム含量に影響する諸要因の検討 ○金丸京平1・高橋浩司2・E. Benitez1・山田哲也1・山田直弘1・羽鹿牧太1(1. 作物研究所2. 長野県野菜花き試験場)	324 ナス半枯病抵抗性選抜マーカーの開発 ○宮武宏治1・齊藤猛雄1・中瀬政介2・根来里美1・山口博隆1・布目司1・大山晃男1・福岡浩之1(1. 農研機構野菜茶研2. 福井農試)	424 ダイコンの稔性回復遺伝子がコードするPPRタンパク質の標的RNAに関する解析 ○小林健人1・久野恵三4・小林啓子2・松岡健2.4・今村順1・中村崇裕2.3・肥塚信也1(1. 玉川大農2. 九大農3. JST・さががけ4. 九大院・生物資・植物栄養)

第5会場 (農学部総合館W-422)	第6会場 (理学部6号館301号室)	第7会場 (理学部6号館401号室)	3月27日
<p>◆座長 村井耕二 (福井県立大)</p> <p>517 オオムギ開花性遺伝子の構造と機能 ○小松田隆夫 (農業生物資源研究所 (NIAS))</p> <p>518 オオムギの内穎およびリンビ形成に関わるBPL遺伝子のマッピング ○漆川直希・山下優子・武田真 (岡山大学資生研)</p> <p>519 バンコムギ老化関連遺伝子群の発生の分子マーカーとしての利用 ○梶村友則・水野信之・宅見薫雄 (神戸大農学)</p> <p>520 形質転換イネを用いたコムギQTL遺伝子の機能解析 ○石黒郁美・川浦香奈子・萩原保成・村中俊哉・一色正之 (横浜国立大学 木原生物学研究所)</p>	<p>◆座長 石井卓朗 (作物研)</p> <p>617 DNAマーカーを利用した反復戻し交配によって育成した赤かび病抵抗性春まきコムギ系統 ○足利奈奈1・鈴木孝子2・米嶋正朋1・中道浩司3・吉村康弘1 (1. 道立北見農試2. 道立中央農試3. 道立上川農試)</p> <p>618 ラーメン用小麦品種「ちくしW2号」の育成 古庄雅彦1・塚崎守啓1・松江勇次1・内村要介1・山口修2・馬場孝秀1・高田衣子1・宮崎真行1・浜地勇次1 (1. 福岡県農業総合試験場2. 中央農研北陸セ)</p> <p>619 炊飯後に褐変しにくく、食味に優れる二条裸麦新品種「四国裸麦119号」の育成 ○柳沢貴司1・長嶺敬1・高橋飛鳥1・高山敏之2・土井芳憲3・松中仁4・藤田雅也4 (1. 農研機構近中四農研2. 栃木県農試3. 元農研機構近中四農研4. 農研機構九沖農研)</p> <p>620 ソマクローナル変異による酒米の育種と試験醸造 ○阿部利徳 (山形大農)</p>	<p>◆座長 安井秀 (九州大)</p> <p>717 イネの耐湿性獲得に重要なRadial O₂ lossバリアの形成組織における網羅的遺伝子発現解析 ○塩野克宏1,2・Al ImranMalik3・山崎聡1・西澤直子1,4・長村吉寛5・堤伸浩1・D. ColmerTimothy 3・中國幹生1 (1. 東大農学生命科学2. 日本学術振興会特別研究員PD3. 西オーストラリア大学自然農産科学4. 石川県立大生物資源工学5. 農業生物資源研究所)</p> <p>718 光阻害耐性のイネ品種間差 ○笠島一郎1・高原健太郎1・川合真紀2・内宮博文1,2,3 (1. 東大・分生研2. 埼玉大・環科セ3. 岩手生工研)</p> <p>719 ダイズ中間母本「箱系32号」の耐湿性機作 ○鴻坂扶美子・大西志全・藤田正平 (北海道立中央農業試験場)</p> <p>720 テオシント (<i>Zea mays</i>) の耐湿性に関わる特性 ○安彦友美1・間野吉郎2・塩野克宏1,3・堤伸浩1・中國幹生1 (1. 東大農学生命科学2. 農研機構3. 日本学術振興会特別研究員PD)</p>	<p>14:15</p> <p>14:30</p> <p>14:45</p> <p>15:00</p>
<p>◆座長 宅見薫雄 (神戸大)</p> <p>521 水稲直立穂型に関する研究の現状と展望 ○徐正進1,2 (1. 京都大学大学院農学研究科2. 瀋陽農業大学)</p> <p>522 粳数に関与するノバタキのQTLを集積したササニシキの収量性評価 ○大角壮弘1・高井俊之2・山本敏央3・荒井裕見子2・矢野昌裕3・安藤露4・近藤始彦2 (1. 農研機構 中央農研2. 農研機構 作物研3. 生物研4. STAFF研)</p> <p>523 イネの葉身SPAD値に関するQTLのファインマッピングおよびその個葉光合成への寄与 ○高井俊之1・近藤始彦1・大角壮弘2・矢野昌裕3・山本敏央3 (1. 作物研究所2. 中央農業総合研究センター3. 農業生物資源研究所)</p> <p>524 P形ワリエ記述子によるイネの草型解析 4草型に関連する遺伝子の解析 ○鈴木克彰・青井一洋・平田豊 (東京農工大学 植物遺伝育種学研究室)</p>	<p>◆座長 齊藤美香 (東北農研)</p> <p>621 高温登熟性に優れた極良食味水稲品種「元氣つくし」の育成 ○和田卓也・坪根正雄・尾形武文・浜地勇次・松江勇次・井上敬・大里久美・安長知子・川村富輝 (福岡県農業総合試験場)</p> <p>622 早生で幅広い作期に向く稲発酵粗飼料用水稲新品種「まきみずほ」の育成 ○田村泰章1・坂井真1・田村克徳1・片岡知守1・岡本正弘1・平林秀介2・溝淵律子3・梶亮太4・深浦壮一5 (1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・作物研3. 生物研4. 農研機構・東北農研5. 熊本県)</p> <p>623 再生稲利用の2回刈りで多収が得られる飼料(サイレーン)用イネ品種「ルリアオバ」の育成 ○坂井真1・中野洋1・田村泰章1・岡本正弘1・梶亮太2・田村克徳1・片岡知守1・溝淵律子3 (1. 農研機構・九州沖縄農研2. 農研機構・東北農研3. 生物研)</p> <p>◆座長 和田卓也 (福岡農試)</p> <p>624 強釋で米粉用、飼料用など多用途に向く多収イネ品種「ミズホチカラ」の育成 坂井真1・片岡知守1・梶亮太2・岡本正弘1・平林秀介3・田村泰章1・田村克徳1・溝淵律子4・八木忠之1・西村実4・深浦壮一5・山下浩1・西山寿1・本村弘美1・滝田正6・川崎貞道7 (1. 九州沖縄農研2. 農研機構3. 作物研4. 生物研5. 熊本県6. 国際農研7. 熊本製粉(株))</p>	<p>◆座長 福永健二 (県立広島大)</p> <p>721 環境温度変動に対する tasiRNA の機能解析 ○久米浩平・堤賢一・斎藤晴史 (岩手大寒冷バイオ)</p> <p>722 ヨシの倍数性と栄養成長に関する変異について ○荒木哲朗1・近江戸伸子2・清水顕史1・長谷川博1 (1. 滋賀県立大院環境科学2. 神戸大学院人間発達環境学)</p> <p>723 日本在来 <i>Elymus</i> 属の多型解析マーカーの作成とその利用 ○笹沼恒男1・泉澤美1・阿部利徳1・高田兼則2・川口健太郎3・小柳敦史3 (1. 山形大農2. 近中四農研3. 作物研)</p> <p>724 中国メロン「ハミウリ」における核及び細胞質ゲノムの多様性及びフユメロン品種群との類縁関係 アルキンヤンセン1・明石由香利1・田中克典2・西田英隆1・加藤謙司1 (1. 岡山大院自然2. 地球研)</p>	<p>15:15</p> <p>15:30</p> <p>15:45</p> <p>16:00</p>

3月27日	第1会場 (農学部総合館W-100)	第2会場 (農学部総合館W-214)	第3会場 (農学部総合館W-314)	第4会場 (農学部総合館W-322)
16:15		◆座長 岩田洋佳 (中央農研) 225 東北地方において栽培されている有色大豆のトコフェロール組成の遺伝的差異 ○河野雄飛・加藤信・菊池彰夫(東北農業研究センター 大豆育種研究東北サブチーム)		◆座長 風間智彦 (東北大) 425 陸稲NERICA品種におけるグラベリマ由来の不稔遺伝子の同定 ○福田善通・柳原誠司(国際農林水産業研究センター)
16:30		226 ダイズ種子中のスクロース含量に関する遺伝解析 遠藤亮太1・寺石政義1・中村岳史1・佐山貴司2・石本政男2・高橋浩司3・築山拓司1・奥本裕1・谷坂隆俊1(1. 京大院農2. 北農研3. 長野県野菜花き試験場)		426 Estimation of outcrossing rate of Asian wild rice, <i>Oryza rufipogon</i> , under field condition ○D. Phan・H. Kageyama・R. Ishikawa・T. Ishii(神大 農学研究科)
16:45		227 ダイズの草姿に影響をおよぼす新規突然変異形質の特徴 ○小松邦彦1・高橋将一2・大木信彦2・佐山貴司1・船附秀行1・石本政男1(1. 北農研2. 九沖農研)		427 イネ減数分裂におけるシナプトネマ複合体タンパク質ZYP1の機能 ○米田典夫1,2・野々村賢一1,2(1. 遺伝研実験圃場2. 総研大生命科学)
17:00		228 ダイズ早生長花梗系統の選抜とその特性評価 ○山口直矢1・佐山貴司2・小松邦彦2・山崎敬之3・大西志全4・船附秀行2・石本政男2・三好智明1(1. 道立十勝農試2. 北海道農研3. 道立北見農試4. 道立中央農試)		428 ダイコンのミトコンドリアゲノムにみられるサブストイキオメトリックシフト(SSS)の遺伝解析 小嶺佑太・富岡関子・山岸博・寺地徹(京産大工)
	農学部総合館 W-522	第2会場 (農学部総合館W-214)	第3会場 (農学部総合館W-314)	第4会場 (農学部総合館W-322)
17:30	グループ研究会1 表現型計測をねじ伏せろ! - Breeding Informatics研究 VII - 世話人: 矢野健太郎 (明治大) 山崎将紀 (神戸大) 岩田洋佳 (中央農研) 話題提供: 「CornTrackerによるフェノタイピングの効率化 (CornTracker: Increasing Phenotyping Efficiency)」 Arturo Garcia (USDA-ARS)	グループ研究会2 第39回生物進化・細胞遺伝談話会 世話人: 木庭卓人 (千葉大) 森 直樹 (神戸大) 話題提供: 「トウジンビエ作物—雑草複合の遺伝構造」 三浦勲一 (京都大)	グループ研究会3 遺伝資源海外学術調査の現状と課題 世話人: 大田正次 (福井県立大) 加藤謙司 (岡山大) 佐藤雅志 (東北大) 話題提供: 「インドにおけるエンマーコムギの栽培と利用」 大田正次 (福井県立大) 「アゼルバイジャンとウズベキスタンにおけるムギ類遺伝資源の調査」 田中裕之 (鳥取大)	グループ研究会4 米の食味育種と遺伝解析 世話人: 竹内善信 (作物研究所) 和田卓也 (福岡県農業総合試験場) 話題提供: 「凍結フィルム法を用いた貯蔵タンパク質の米粒内分布の解析」 増村威宏 (京都府立大学) 「水稲品種および栽培環境条件の違いが炊飯米の食味・理化学的特性に及ぼす影響」 松江勇次 (福岡県農業総合試験場)

第5会場（農学部総合館W-422）	第6会場（理学部6号館301号室）	第7会場（理学部6号館401号室）	3月27日
525 イネの2変異体の解析. II. 新規アレルの単離と育種的利用の可能性 ○坂本知昭1・北野英己2(1. 名大高等研究院2. 名大生物機能開発利用研究センター)	625 強稈で極多収の稲発酵粗飼料用及び飼料米兼用水稲新品種「モグモグあおば」の育成 田村泰章1・坂井真1・○田村克徳1・片岡知守1・岡本正弘1・平林秀介2・溝淵律子3・梶亮太4・深浦壮一5(1. 九州沖縄農研2. 作物研3. 生物研4. 東北農研5. 熊本県)		16:15
	626 玄米品質の低日射耐性系統「西南130号」の特性 ○大内田真・田中明男・佐藤光徳(鹿児島県農業開発総合センター)		16:30
			16:45
			17:00
第5会場（農学部総合館W-422） グループ研究会5 育種学と農学のこれからの考える19 若手の会主催・研究会 世話人：角井宏行（千葉大学） 吉岡洋輔（野菜茶業研究所） 話題提供： 「Functional evolution of row type gene <i>Vrs1</i> in barley」 佐久間 俊（千葉大学） 「イネにおけるjuvenile-adult相転換を制御するPPS遺伝子の解析」 田中伸裕（東京大学） 「イネ転移因子mPingの爆発的増殖：ゲノム進化の現場を捉える」 内藤 健（ジョージア大学）			17:30

